

令和 4 年度 社会福祉法人 城島福社会 事業報告

- ふれあいの園 ケアプランサービス P2~P6
- 特別養護老人ホーム ふれあいの園 P7~P9
特別養護老人ホームふれあいの園 短期入所生活介護
P10~P12
- ふれあいの園 デイサービスセンター P13~P20
- ケアハウス ふれあい荘 (特定施設入居者生活介護)
P21~P26
- ホームヘルプ P27~P31
- 在宅支援室 P32~P33
- ふれあいの園 みづまケアプランサービス
P34~P37
- ふれあいの園 みづま館小規模多機能型居宅介護
P38~P44
- ふれあいの園 みづま館認知症対応型通所介護
P45~P53

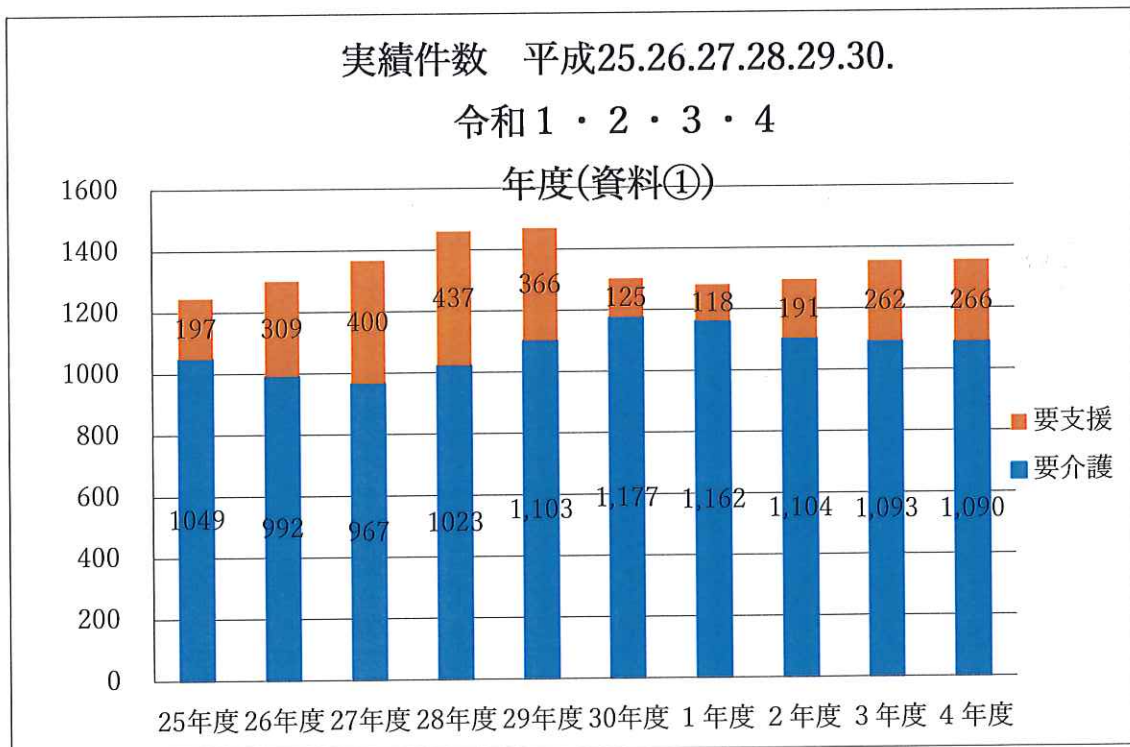
令和4年度 ふれあいの園ケアプランサービス

事業報告書

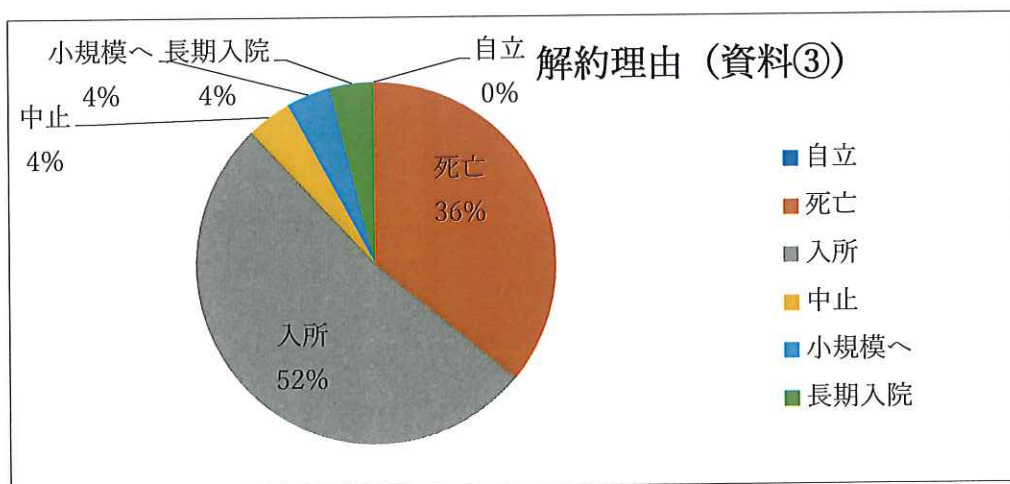
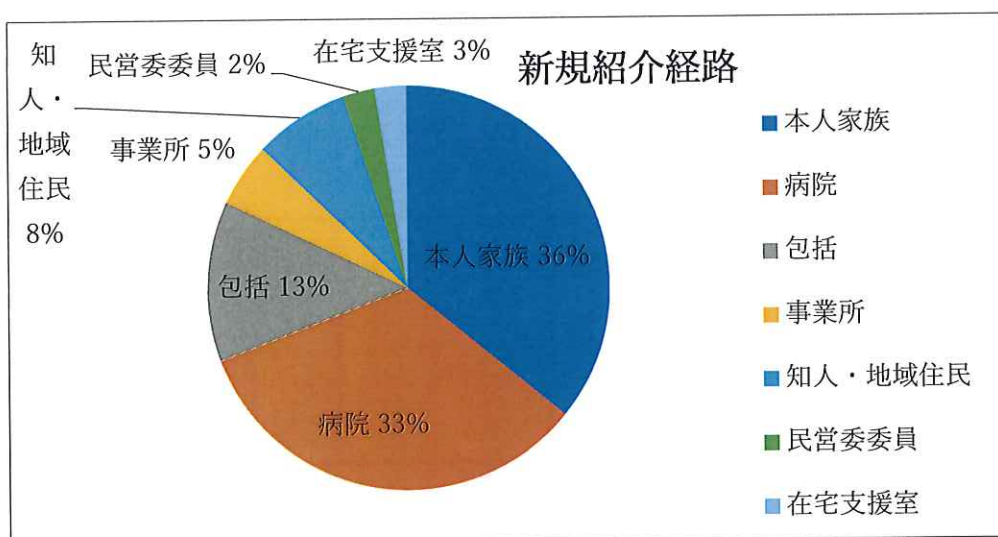
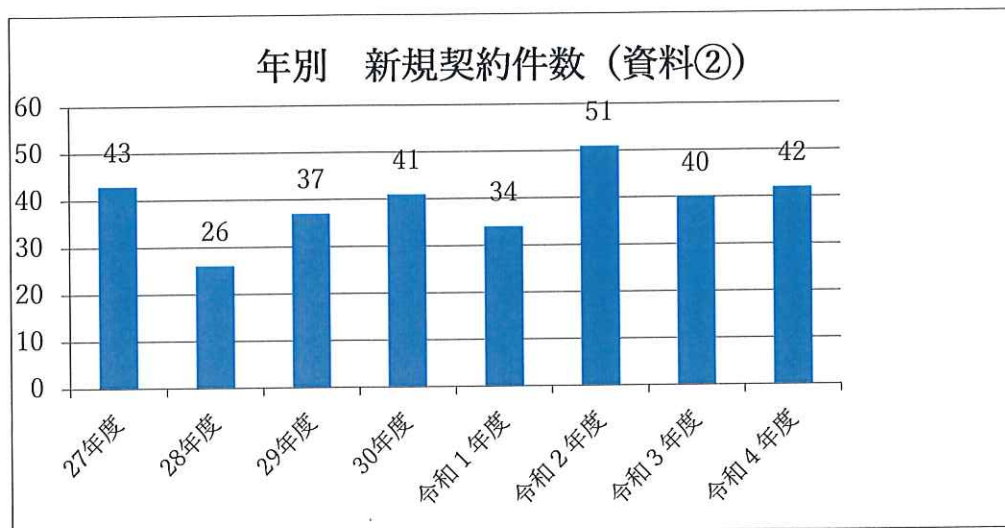
実績について（資料①②③）

昨年度と比べますと、要介護者で3件減、要支援者で4件増でした。介護支援専門員1人当たりの基準担当件数は月/35件となっており、要支援者を0.5件で計算し、今年度の稼働率は、介護支援専門員3名体制で月平均/34件、稼働率97.1%でした。昨年度97.1%

令和3年度と件数的には大差がないにもかかわらず、収入減になった理由としては、要介護度4.5の重度の利用者数と加算算定の減少によるものと考えられます。

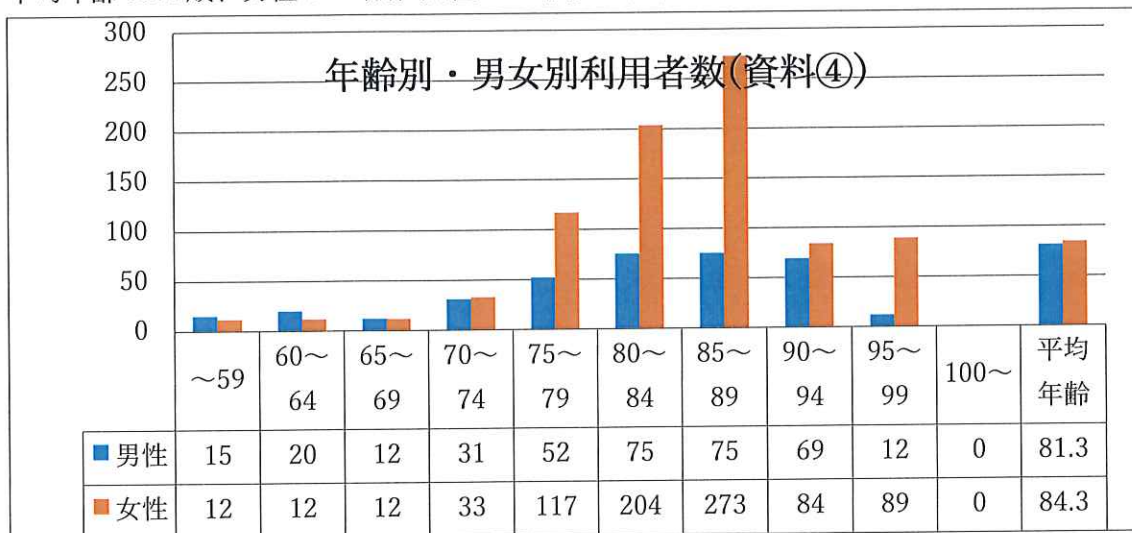


収入	令和4年度目標数	令和4年度実績	達成率	令和3年度実績		
利用者延べ数	1,260	1,223	97%	1,224		
総収入	18,407,000	17,322,722	94%	18,131,290		
支出	予算額	実績額	執行率	人件費率	職員増減数	
事業費支出	768,000	553,026	72%	94.4%	増 0 名	
事務費支出	640,000	655,015	102%		減 0 名	



・年齢別・男女別利用者数について（資料④）

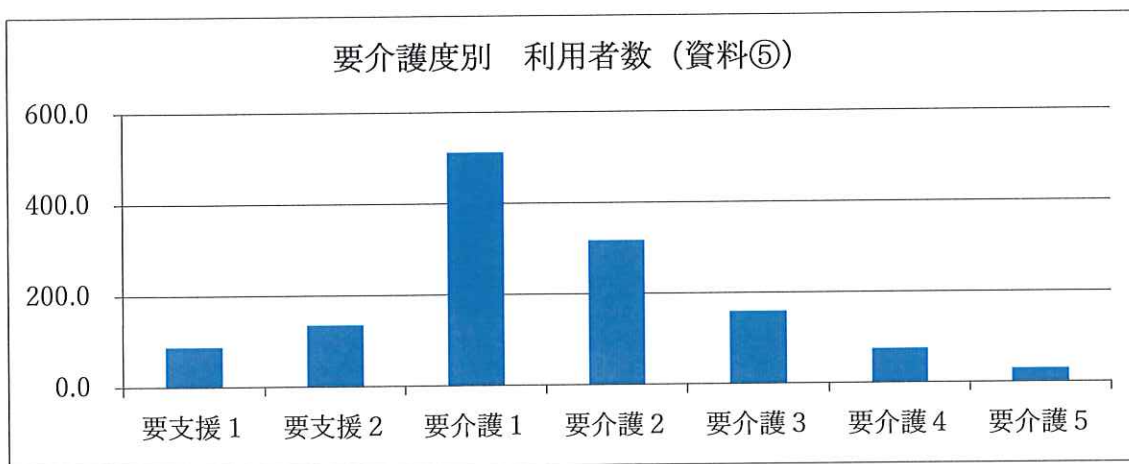
平均年齢 83.4 歳、男性 81.3 歳、女性 84.3 歳。 男性＝29.9%、女性＝70.1%



・介護度別の利用者人数について（資料⑤）

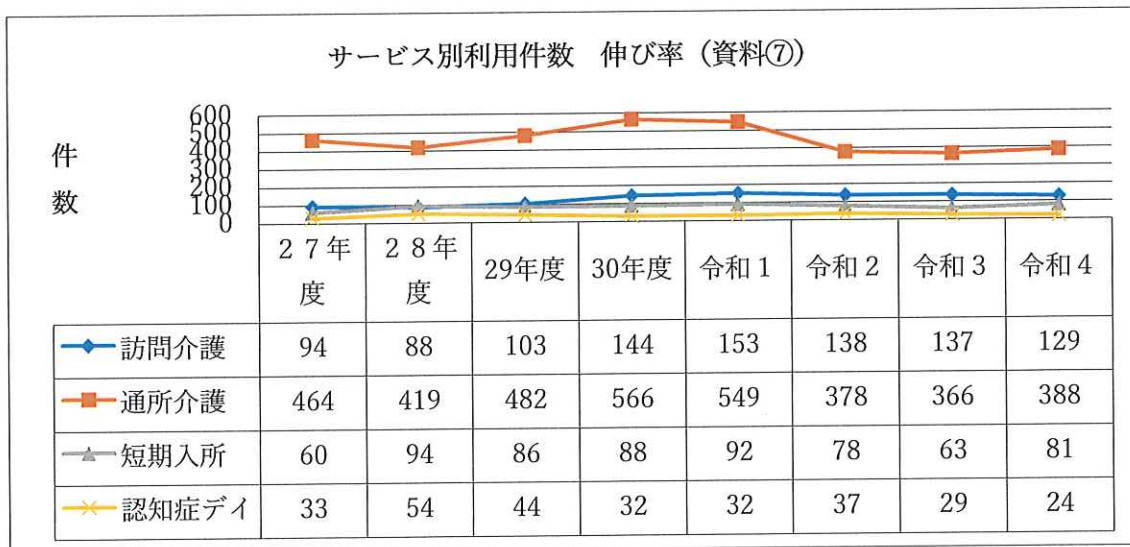
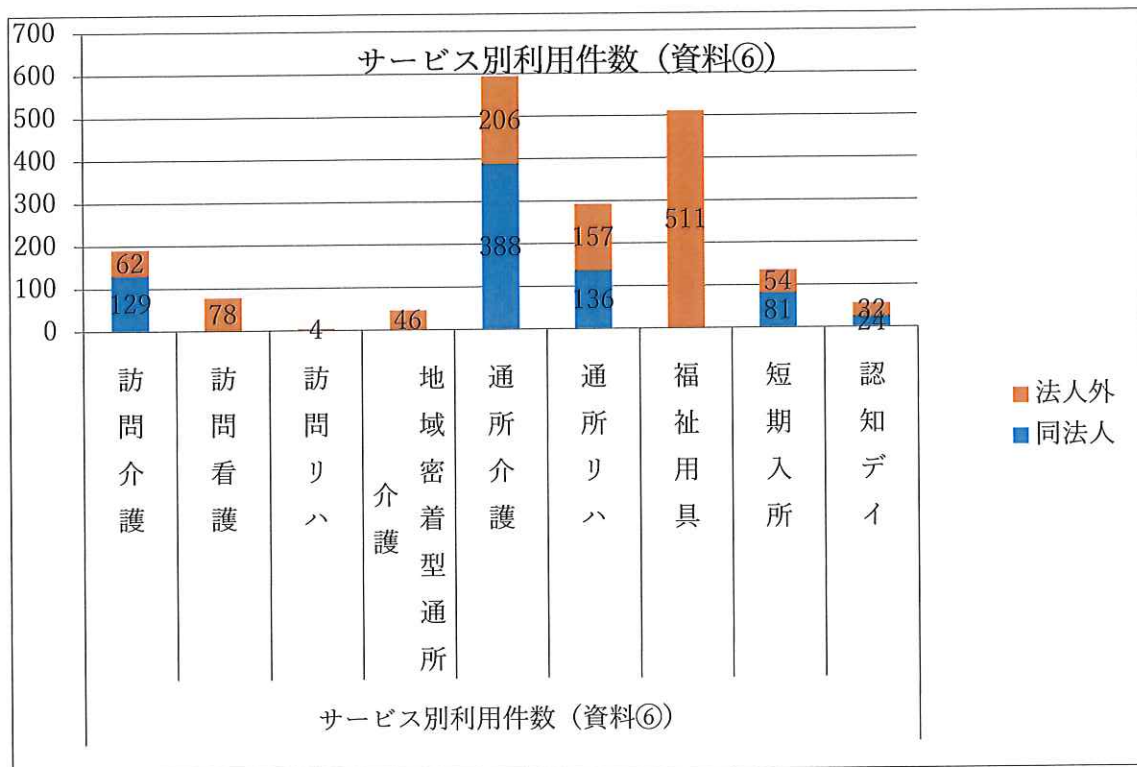
平均要介護度は 1.76（平均要介護度は要支援以下を 0.375 として計算しています。）

要支援から要介護 1・2 までの利用者数が全体の約 8 割程になっており、軽度化が進んでいます。



・サービス別利用件数について（資料⑥⑦）

同一法人のサービス別利用件数については、訪問介護に関しては、慢性的なヘルパーの人員不足もありますが、この数年は全体的に訪問介護に対するニーズも減っており、利用件数も横ばいである。短期入所においては、介護職員不足や感染症対策上の理由で受け入れ制限をしていましたが、今年度は徐々に受け入れをしており、利用数も若干増加している。通所介護については、感染症の流行以前の数値までとはいかないが、利用数は増加傾向です。



重点目標について

1. 感染症や災害への対応力強化

予防接種、マスク着用、消毒の実施等の感染対策を行った上で、ケアマネジメント業務を実施しました。利用者及び家族が感染した際も、利用者個々の介護状態に応じ、関係機関や事業所と連携し、サービス調整等の対応を行いました。感染症に対する研修などはオンラインから配信される動画を視聴し研修しました。感染症に対する計画については、事業所としての計画は作成しています。また、災害時でも業務が継続できるよう、BCP（業務継続計画）については、事業所内の計画は作成し、リスクアセスメントシート、安否確認優先順位を記載した災害時利用者一覧表の作成までできしており、来年度は研修や訓練等を実施していく予定です。感染症や災害時でも、ケアマネジメント業務が在宅でもできるよう、業務ソフトのオンライン化やリモートでの会議、電話によるモニタリング面接など、事前に計画準備しており、自宅待機期間中でも利用者に不都合が無いよう、必要な支援を行うことができます。

2. 介護支援専門員としての資質の向上と公正中立の確保

外部研修においては、積極的にオンラインを活用した研修に参加しました。また、感染対策を図ったうえで、西圏域事業者事例検討会に参加し、資質の向上を図りました。

3. 高齢者が住み慣れた地域で生活が継続できるよう医療や介護、関係機関と連携を図る。

医療連携については、新型コロナウイルス感染対策上、面会制限等があり、対面での面接が出来ず、戸惑う面もありましたが、書面や電話での情報交換、連携にも慣れてきました。

4. 備品購入について

ICT 導入支援補助金制度を利用し、居宅の老朽化したデスクトップ型のパソコンをノートパソコンに買い替えたことで、介護支援専門員全員がノートパソコンを所持することができ、介護記録、情報の共有化、請求業務など業務の効率化につながりました。

以上

令和 4 年度 事業報告書

特別養護老人ホームふれあいの園

1. 令和 4 年度の利用状況と実績について

令和 4 年度の利用状況は平均請求者数が 49.5 人とほぼ 50 人の満床を継続しています。

売上について、期首予算 98%、補正予算 100.3%、前年比 109%と 16,000,000 円ほど増収しました。

令和 5 年度も満床を継続していきます。

入所待機者の状況について

令和 5 年 3 月末現在で 99 名となっています。4 年 3 月末は 91 名でしたので、8 名増加しています。

行事について

行事については、新型コロナウイルス感染予防の観点から行うことができませんでした。令和 5 年 5 月から新型コロナウイルス感染症が 5 類相当になりましたが一気に元に戻すことはできませんので感染状況を見ながら少しずつ対応して参ります。

2. 令和 4 年度事業計画の評価について

1. 職員の定着率向上（退職者を減らす）について

今年度は、退職者を最小限に食い止め、下半期からは新規職員を雇用できましたので業務が落ち着き、職員の負担軽減が出来ました。令和 5 年度も職員の定着率向上、人員の拡充を行い、施設全体のサービスの質の向上に努め、適切な労働環境を構築していく。

2. 感染症対策について

新型コロナウイルス対策について、昨年度から引き続き職員は出勤時の体温測定実施と家族の面会については、タブレットを使用したオンライン面会を推奨し、緊急事態宣言時、まん延防止等重点措置時は面会を中止しております。利用者の処遇については 12 月から翌年 1 月にかけてクラスターを発生してしまい、利用者と職員の多くが感染者となりました。幸いにも重篤化を防ぐことができ、死亡者は出ませんでした。

3. 入院者の対応について

病院のソーシャルワーカーと連携を取り、退院または退所の手続きを円滑に進めて参りました。入居者の健康観察に努め、病状の早期発見、早期受診、早期の退院を目指していく。

3. 収支の状況について

収入の部	4年度目標数	4年度実績	達成率
平均利用数	50名	49.5名	99%
総収入	204,625,000円	201,321,194円	98%

支出の部	予算額	実績額	執行率	人件費率
事業費支出	37,527,241円	39,595,281円	105.5%	70.6%
事務費支出	13,633,000円	14,166,707円	103.9%	

4. 今後の課題について

年度初めは人員不足によって職員の疲弊が見られました。ハローワーク、紹介・派遣会社による求人活動を強化し、何とか新規職員を雇用できました。

相談員、主任の業務が増大していますので将来の中核職員の育成に努めたい。

本館に新規でナースコール設置しましたので有効に使用し、入居者、職員の利便性を図っていく。

以下、ナースコール関連報告

① ナースコール導入業者：大栄電通株式会社

② 発注商品名/金額（税込）

■ すいすいケア導入一式・・・・・・・・・4,730,000円

■ スマホ連動 ナースコール設備・・3,261,500円

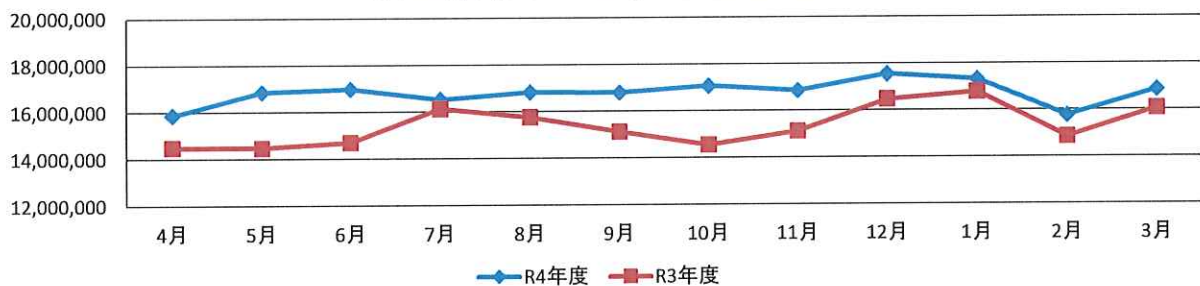
合計金額 7,991,500円

③ 令和4年度福岡県介護ロボット導入支援事業費補助金交付
補助金額・・2,099,000円

事業収入評価検討票(令和4年度)

ふれあいの園（特養）		提供月 (4年度)	営業日数 (日)	請求者数		実績				目標達成率		日別 実績	ショートステイ 収入	総収入
				目標	実績	保険収入 (実績)	自費	他	合計	目標	達成率			
		4月	30	50	49	15,874,735		0	15,874,735	16,800,000	94%	529,158	2,156,855	18,031,590
		5月	31	50	50	16,861,773		0	16,861,773	17,360,000	97%	543,928	2,276,608	19,138,381
		6月	30	50	50	16,974,744		0	16,974,744	16,800,000	101%	565,825	2,109,427	19,084,171
		7月	31	50	50	16,534,900		0	16,534,900	17,360,000	95%	533,384	1,908,115	18,443,015
		8月	31	50	48	16,829,093		0	16,829,093	17,360,000	97%	542,874	1,472,435	18,301,528
		9月	30	50	49	16,809,118		0	16,809,118	16,800,000	100%	560,304	1,852,946	18,662,064
		10月	31	50	49	17,067,796		0	17,067,796	17,360,000	98%	550,574	2,993,482	20,061,278
		11月	30	50	51	16,860,927		0	16,860,927	16,800,000	100%	562,031	2,409,135	19,270,062
		12月	31	50	50	17,550,500		0	17,550,500	17,360,000	101%	566,145	2,342,908	19,893,408
		1月	31	50	50	15,208,180	2,110,708	0	17,318,888	17,360,000	100%	558,674	2,255,187	19,574,075
		2月	28	50	50	13,875,115	1,896,262	0	15,771,377	15,905,000	99%	563,263	1,808,970	17,580,347
		3月	31	50	48	14,870,945	1,996,398	0	16,867,343	17,360,000	97%	544,108	2,684,470	19,551,813
		合計	365		49.5	195,317,826	6,003,368	0	201,321,194	204,625,000	98%		26,270,538	227,591,732
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
R4年度	15,874,735	16,861,773	16,974,744	16,534,900	16,829,093	16,809,118	17,067,796	16,860,927	17,550,500	17,318,888	15,771,377	16,867,343	201,321,194	16,776,766
R3年度	14,496,046	14,477,242	14,701,296	16,131,589	15,761,197	15,129,296	14,545,443	15,130,056	16,478,019	16,778,536	14,862,084	16,071,068	184,561,872	15,380,156
増収額	1,378,689	2,384,531	2,273,448	403,311	1,067,896	1,679,822	2,522,353	1,730,871	1,072,481	540,352	909,293	796,275	16,759,322	1,396,610
前年比	110%	116%	115%	103%	107%	111%	117%	111%	107%	103%	106%	105%	109%	

売上推移および前年度比較



特養+ショートステイ累計売上(令和4年度累計) 目標比91.1% 前年比105.3% 増収額 11,474,990円

令和4年度補正予算 200,625,000円 実績201,321,194円 達成率100.3% 増収額696,194円

☆月別総括

- ・4月 複数の入院者(退居者)が出た為、売上目標未達 前年比107%増収
 - ・5月 50名満床達成するも入院者が出た為、売上目標未達 前年比115%増収
 - ・6月 50名満床を維持するも入院者が出た為、売上目標未達 前年比107%増収
 - ・7月 50名満床を維持するも入院者が出た為、売上目標未達 前年比101%増収
 - ・8月 退居者、入院者が出た為、売上目標未達 前年比106.8%増収
 - ・9月 入居者1名増加するも入院者が出た為、売上目標未達 前年比105%増収
- | 累計 | 目標比 | 前年比 |
|----|-------|--------|
| 4月 | 97.8% | 110.9% |
| 5月 | 98.2% | 109.7% |
| 6月 | 97.5% | 107.4% |
| 7月 | 97.7% | 106.8% |
| 8月 | 97.9% | 106.5% |

☆上半期総括

- ・4~6月 50名の満床を維持し、入院者も少なく、売上目標未達ながら前年売上を上回って堅調であった。
- ・6~9月 職員のコロナウイルス陽性者・濃厚接触者が増加し、入居者の入院も増えたので前年を超えるも売上増加が鈍化する。
- ・上半期売上目標比97.9%(2,117,597円未達) 前年比106.5%(6,198,304円達成)
- ・10月 入院者増加の為、売上目標は未達。前年より入院者を抑制出来ているため前年比増 累計 目標比97.9% 前年比107.3%
- ・11月 50名満床達成。入院者も抑制出来た為、売上目標達成 前年比112%増収 累計 目標比98.3% 前年比107.8%
- ・12月 50名満床継続。入院者も抑制でき、コロナクラスターの中でも今年度最高益となる。 累計 目標比98.8% 前年比107.6%
- ・1月 50名満床継続するも入院者増加前月より売上減少、前年比105% 累計 目標比98.4% 前年比109.7%
- ・2月 50名満床達成 入院者があるも、退院もあり、修正予算達成。 累計 目標比98.6% 前年比109.6%
- ・3月 入院者が多数発生し売上減となる。

☆令和4年度総括

- ・50床満床を継続し、前年度に比べて大きく増収出来ました(年初予算は未達、補正予算は達成)要因は介護職員の補充があり業務が安定したこと、冬季の新型コロナウィルスクラスターもありながら入院数を抑制することが出来た事です。

令和 4 年度 事業報告書

特別養護老人ホームふれあいの園

短期入所生活介護

1. ショートステイの収入評価について

令和 4 年度の営業成績は定員 20 人に対し平均稼働率 6.5 人、期首予算達成率 58%、補正予算達成率 87%、前年度比 83%、前年度から 5,000,000 円ほど減収しております。

久留米市から委託を受けております生活支援ショートステイ利用については、令和 4 年度の利用はありませんでした。

利用者の状況について

人員不足をショートステイの利用者を調整することで補ったので稼働率を上げることはできませんでした。また、コロナウイルス感染等で入院者を出したことで売上減となりました。

2. 令和 4 年度事業計画の評価について

1. ショートステイの稼働率アップについて

今年度は、特養を満床し、売上を安定させることを主目的としました。継続し人員不足の為、ショートステイの受け入れ利用者を制限しました。その結果、稼働率が上がりず売上予算未達、前年度売上から減収となりました。

2. 感染症対策について

新型コロナウイルス対策について、昨年度から引き続き職員は出勤時の体温測定実施と家族の面会については、緊急事態宣言時、まん延防止等重点措置時は面会を中止しております。利用者の処遇については 12 月から翌年 1 月にかけてクラスターを発生してしまい、利用者と職員の多くが感染者となりました。幸いにも重篤化防ぐことができ、死亡者は出ませんでした。

3. アクティビティについて

5 月、新たに作業療法士（理学療法士退職に伴う）を雇用し、リハビリ・アクティビティの充実を図っています。

3. 収支の状況について

収入の部	4 年度目標数	4 年度実績	達成率
日平均利用者数	17 人	6.5 名	38.2%
総収入	45,144,000 円	26,270,538 円	58.1%

支出の部	予算額	実績額	執行率	人件費率
事業費支出	9,324,000 円	10,474,778 円	112.3%	72.5%
事務費支出	2,562,000 円	3,031,511 円	118.3%	

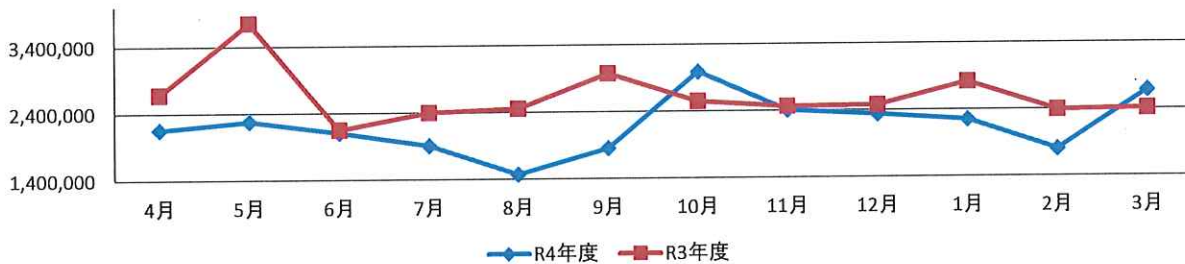
4. 今後の課題について

令和 4 年度の始まりは人員不足によって職員の疲弊が見られていましたが、ハローワーク、紹介会社・派遣会社による求人活動を強化した結果、少しずつ職員を増加することが出来ました。年度終わりには新規利用者を獲得することができ、令和 5 年度はいいスタートが切れます。継続して相談員、主任の業務が増大していますので将来の中核職員の育成に努めたい。

事業収入評価検討票(令和4年度)

ふれあいの園（ショート）		提供月 (4年度)	営業日数 (日)	平均利用者数		実績				目標達成率		日別 実績	特養収入	総収入
				目標	実績	保険収入 (実績)	保険外	自費	合計	目標	達成率			
		4月	30	11(13.6)	7.1	2,156,855			2,156,855	3,000,000	72%	71,895	15,874,735	18,031,590
		5月	31	12(14.7)	6.2	2,276,608			2,276,608	3,244,000	70%	73,439	16,861,773	19,138,381
		6月	30	13(15.4)	6.5	2,109,427			2,109,427	3,400,000	62%	70,314	16,974,744	19,084,171
		7月	31	14(17.3)	5.7	1,908,115			1,908,115	3,800,000	50%	61,552	16,534,900	18,443,015
		8月	31	14(17.3)	5.4	1,472,435			1,472,435	3,800,000	39%	47,498	16,829,093	18,301,528
		9月	30	14(16.8)	6.6	1,852,946			1,852,946	3,700,000	50%	61,765	16,809,118	18,662,064
		10月	31	15(18.6)	7.2	2,993,482			2,993,482	4,100,000	73%	96,564	17,067,796	20,061,278
		11月	30	15(17.7)	7.6	2,409,135			2,409,135	3,900,000	62%	80,305	16,860,927	19,270,062
		12月	31	15(18.6)	6.3	2,342,908			2,342,908	4,100,000	57%	75,578	17,550,500	19,893,408
		1月	31	15(18.6)	6.5	1,930,290	22,340	302,557	2,255,187	4,100,000	55%	72,748	17,318,888	19,574,075
		2月	28	15(17.7)	5.8	1,579,785	1,500	227,685	1,808,970	3,900,000	46%	64,606	15,771,377	17,580,347
		3月	31	15(18.6)	7.6	2,295,520	0	388,950	2,684,470	4,100,000	65%	86,596	16,867,343	19,551,813
		合計	365	14(17)	6.5	25,327,506	23,840	919,192	26,270,538	45,144,000	58%		201,321,194	227,591,732
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
R4年度	2,156,855	2,276,608	2,109,427	1,908,115	1,472,435	1,852,946	2,993,482	2,409,135	2,342,908	2,255,187	1,808,970	2,684,470	26,270,538	2,189,212
R3年度	2,686,211	3,755,666	2,150,931	2,403,939	2,458,846	2,975,523	2,548,105	2,463,840	2,482,635	2,822,760	2,393,092	2,413,322	31,554,870	2,629,573
増収額	-529,356	-1,479,058	-41,504	-495,824	-986,411	-1,122,577	445,377	-54,705	-139,727	-567,573	-584,122	271,148	-5,284,332	-440,361
前年比	80%	61%	98%	79%	60%	62%	117%	98%	94%	80%	76%	111%	83%	

売上推移および前年度比較



特養+ショートステイ累計売上(令和4年度累計) 目標比91.1% 前年比10.5.3% 増収額 11,474,990円

補正予算30,144,000円 実績26,270,538円 達成率87.1% 未達成額3,873,462円

☆月別総括

- ・4月 職員不足による新規利用者調整中の為、売上目標・前年売上とも未達
- ・5月 新規利用者は調整中。ロングショート利用者を特養が空き次第、入居に切り替えている 累計 目標比70.4% 前年比68.8%
- ・6月 富田病院紹介新規1名。ロングショート利用者を特養が空き次第、入居に切り替えている 累計 目標比67.6% 前年比76.1%
- ・7月 職員コロナウイルス陽性者・濃厚接触者増加の為、人員不足が酷く受け入れ調整を行う 累計 目標比62.7% 前年比76.8%
- ・8月 職員コロナウイルス陽性者・濃厚接触者増加の為、人員不足が酷く受け入れ調整を行う 累計 目標比57.4% 前年比72.0%
- ・9月 富田病院紹介新規1名。ロングショート利用者を特養が空き次第、入居に切り替えている 累計 目標比56.1% 前年比71.4%

☆上半期総括

- ・4~6月 職員不足による新規利用者調整中の為、売上目標・前年売上とも未達
- ・6~9月 職員のコロナウイルス陽性者・濃厚接触者が増加し、新規利用者は最小限となった為、売上目標・前年売上とも未達。
- 上半期売上目標比56.1%(9,182,539円未達) 前年比71.4%(4,696,627円未達)
- ・10月 職員不足は継続するも新規2名利用開始、前年比99%。1名調整中(富田病院紹介) 累計 目標比56.9% 前年比75.0%
- ・11月 1名調整中、2名利用者が特養入所となる。今年度初めて前年比103%となる 累計 目標比58.0% 前年比78.3%
- ・12月 先月調整中の方、富田病院・施設ともコロナ対応で延期、売上減となる。 累計 目標比57.5% 前年比79.3%
- ・1月 新規利用者1名あるもコロナ健康観察期間、利用者入院の為売上減となる。 累計 目標比58.6% 前年比81.4%
- ・2月 1名特養に入所あり。後半新規2名あり。入院もあり稼働率減少となる。 累計 目標比57.6% 前年比80.9%
- ・3月 新規1名 稼働率が上がり増収となる。

☆令和4年度総括

職員不足により新規利用者を抑制したことが年初目標未達、前年売上83%と売上減の要因である。令和5年1月に介護職員の補充が出来たので、3月から新規利用者の受け入れを再開し、売上増加となる。

令和4年度 ふれあいの園デイサービスセンター 事業報告書

I、年間稼働日数

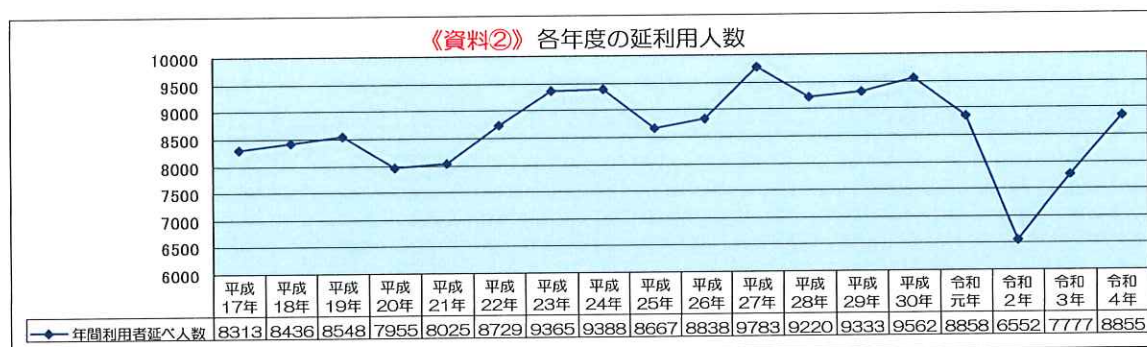
	令和2年度	令和3年度	令和4年度
稼働日数	315 日	309 日	312 日

・令和4年9月に台風の影響で1営業日の臨時休業がありました。感染症の蔓延防止対策の継続、感染者が出た場合の対応を早い段階で行えたため、感染症による営業休止を行うことはありませんでした。

II、サービスの利用状況について

《資料①》

	令和2年度	令和3年度	令和4年度
年間利用者延べ人数	6552 人	7777 人	8855 人
一日の平均利用者数	21.5 人	25.2 人	28.3 人



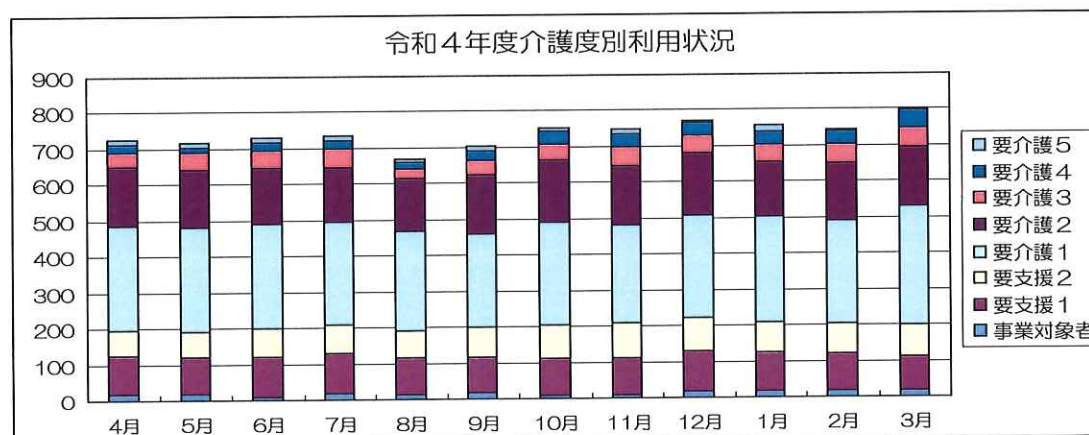
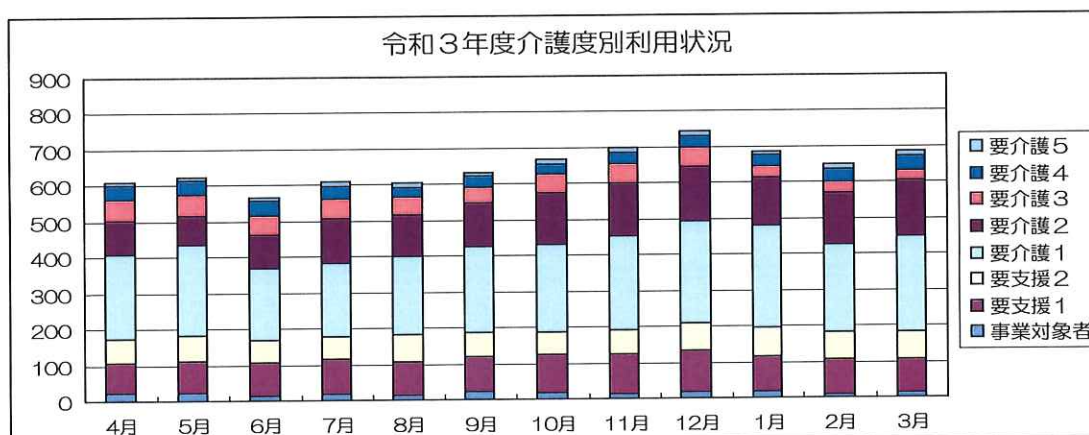
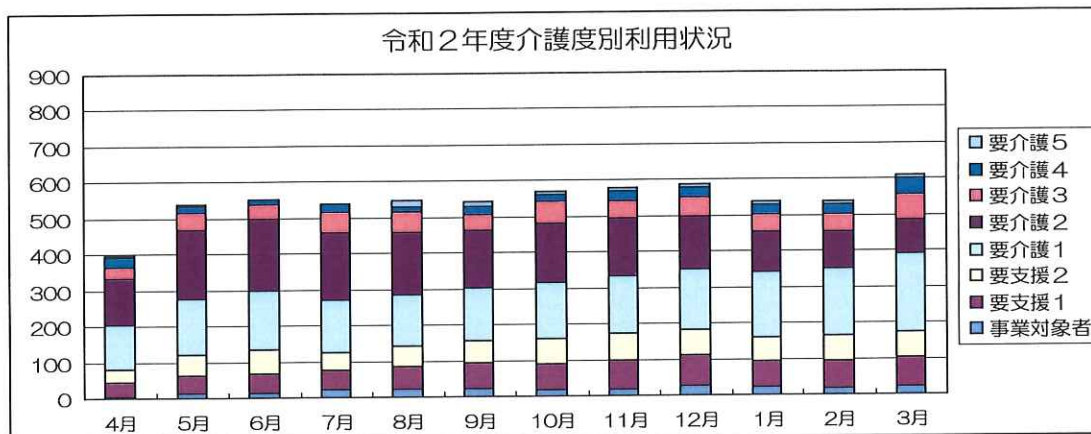
- ・令和4年度の年間の延べ利用数は、前年度比+13.8%。新型コロナウイルス感染症の対応や考え方について事業所やお客様も良い意味で慣れたことにより、感染拡大時にも注意しながら運営することが出来ています。比較すると利用数の増加がありますが、新型コロナウイルス感染症の影響による昨年度のからの登録者数減及び新規利用者の伸び悩みが続いている状況です。(資料①・②)
- ・事業所の利用定員を[平日／介護 30 名、総合事業 10 名]として、ひと月の稼働率は平均 70.8%となっています。

III、サービス利用者の状況について

利用数は全体的に安定していますが、新型コロナウイルス感染症第7波の影響により8月～9月に利用を休まれるケースが増えました。サービス利用をしている利用者の状態像についてですが、令和2年度から令和4年度までの月ごとの利用数及び要支援・要介護状態別に示したグラフを掲載しています(資料③)。令和4年度の傾向としては、昨年度までと同様に要支援の方の総合事業利用と要介護1・2の軽度のお客様の利用数が伸びていること。要介護3以上の中

重度のお客様の利用についてはそれほど伸びていない状況が見てとれます。

《資料③》



IV、基本サービス報酬と加算について

①基本サービス報酬について 《資料④介護度別各年度の基本報酬比較》

サービス利用数の増加に伴い、基本報酬は昨年度比+14.3%となっています。

《資料④介護度別各年度の基本報酬比較》

	事業対象者		備 考
	利用数	報酬	
令和2年度	226	372,860	
令和3年度	201	367,830	前年度比－1.3%
令和4年度	190	347,700	前年度比－5.4%
	要支援1		備 考
	利用数	報酬	
令和2年度	792	1,424,820	
令和3年度	1,177	2,153,910	前年度比＋49%
令和4年度	1,242	2,272,860	前年度比＋5.5%
	要支援2		備 考
	利用数	報酬	
令和2年度	759	2,818,270	
令和3年度	848	3,211,470	前年度比＋14%
令和4年度	1,013	3,845,360	前年度比＋19.7%
	要介護1		備 考
	利用数	報酬	
令和2年度	1,951	11,105,680	
令和3年度	2,943	16,906,410	前年度比＋52%
令和4年度	3,434	19,823,860	前年度比＋17%
	要介護2		備 考
	利用数	報酬	
令和2年度	1,819	11,956,300	
令和3年度	1,503	10,211,890	前年度比－15%
令和4年度	1,944	13,189,020	前年度比＋29%
	要介護3		備 考
	利用数	報酬	
令和2年度	619	4,748,820	
令和3年度	566	4,385,640	前年度比－8%
令和4年度	556	4,400,600	前年度比＋0.3%
	要介護4		備 考
	利用数	報酬	
令和2年度	288	2,456,900	
令和3年度	408	3,642,460	前年度比＋48%
令和4年度	345	3,072,150	前年度比－15.6%
	要介護5		備 考
	利用数	報酬	
令和2年度	98	897,510	
令和3年度	131	1,154,850	前年度比＋29%
令和4年度	131	1,104,930	前年度比－4.3%
令和2年度	35,781,160		基本報酬のみの合計
令和3年度	42,034,460		基本報酬のみの合計（前年度比＋17%）
令和4年度	48,056,480		基本報酬のみの合計（前年度比＋14.3%）

②入浴介助加算

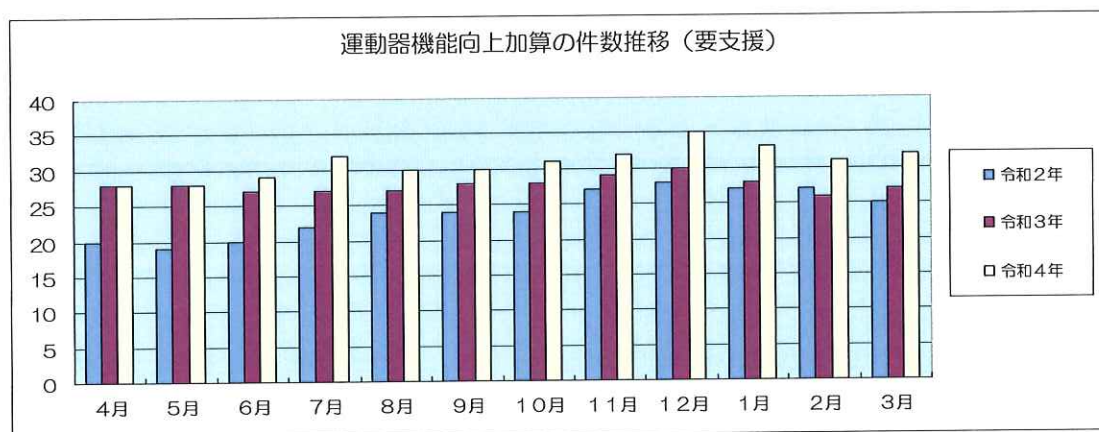
令和 2 年・・・3491 回 $500 \text{ 円} \times 3491 \text{ 回} = 1,745,500 \text{ 円}$

令和 3 年・・・3787 回（令和 2 年度より+13%） $400 \text{ 円} \times 3787 \text{ 回} = 1,514,800 \text{ 円}$

令和 4 年・・・4414 回（令和 2 年度より+26.1%） $400 \text{ 円} \times 4414 \text{ 回} = 1,765,600 \text{ 円}$

※令和 3 年度の介護保険制度改定により、入浴介助加算Ⅰ及びⅡの 2 区分に。従来の入浴介助加算はⅡの 40 単位（1 回 400 円）、新設の入浴介助加算Ⅰは 55 単位（1 回 550 円）となっています。入浴介助加算Ⅰは自宅での入浴を想定した個別計画が必要となり、一律に算定できる内容とはなっていません。当事業所は従来の入浴介助加算Ⅱの算定を行っています。

③運動器機能向上加算（事業対象者、要支援 1・2）



運動器機能向上加算

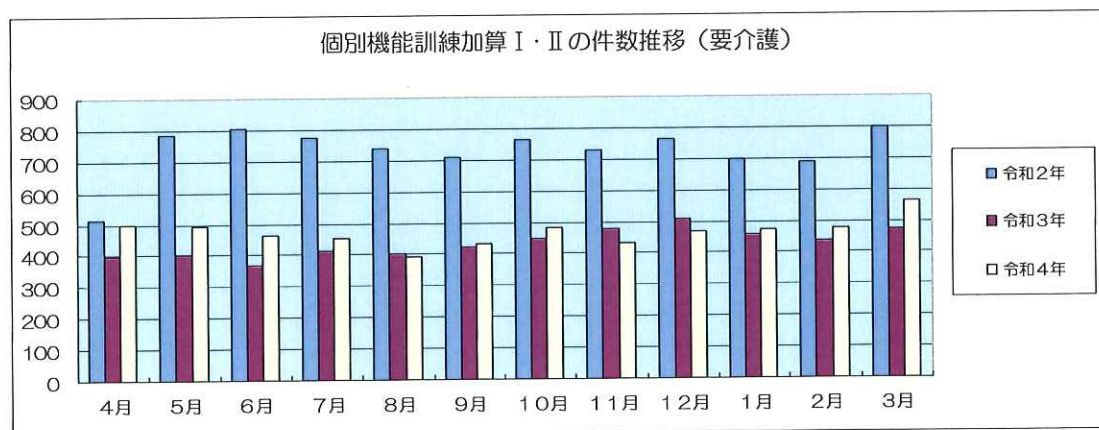
令和 2 年・・・287 回 $2,250 \text{ 円} \times 287 \text{ 回} = 645,750 \text{ 円}$

令和 3 年・・・333 回（令和 2 年度より+16%） $2,250 \text{ 円} \times 333 \text{ 回} = 749,250 \text{ 円}$

令和 4 年・・・371 回（令和 3 年度より+11.4%） $2,250 \text{ 円} \times 371 \text{ 回} = 834,750 \text{ 円}$

総合事業の利用数増加と比例して、運動器機能向上加算の算定数も伸びています。

④個別機能訓練加算



※令和 2 年は個別機能訓練 I と II の総数、令和 3・4 年は個別機能訓練 I (イ)・(ロ)の総数

令和 2 年・・・ 8,772 回

令和 3 年・・・ 5,200 回

令和 4 年・・・ 5,628 回 (令和 3 年度より+8.2%)

令和 4 年度

【個別機能訓練加算 I (イ)】 560 円×892 回=499,520 円

【個別機能訓練加算 I (ロ)】 850 円×4736 回=4,025,600 円

【個別機能訓練加算 II】 200 円×573 回=114,600 円

令和 4 年度計 4,639,720 円 (令和 3 年度より+2.7%)

※令和 3 年度と比較すると機能訓練の算定回数としては 8.2%増だが、人員不足の影響により下位加算である機能訓練 (イ) の算定が増えたため、収益としては 2.7%の増に止まる結果となっています。

【生活機能向上連携加算 II】 1,000 円×944 回=944,000 円 (令和 3 年度より+12.9%)

⑤送迎減算

	減算数		
	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度
要介護 1	270	200	55
要介護 2	50	38	112
要介護 3	74	20	18
要介護 4	1	11	3
要介護 5	2	0	0
合計	397	269	188

通所利用時、送迎サービスを利用しなかった場合 (家族送迎など)、片道 47 単位 (470 円) が基本サービス費から減算されるものです。

470 円×188 回=88,360 円 令和 4 年度の基本サービスの報酬から減算されています。

⑥口腔栄養スクリーニング加算

	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度
年間合計算定数	141	156	171

令和 3 年度の介護保険制度改正にて、栄養状態の観察に加え口腔内の状態の観察と報告を追加した『口腔栄養スクリーニング加算』が新設されました。一人当たり、6 か月に 1 回、200 円の算定となっています。

令和 4 年度 200 円×171 回=34,200 円

⑦ADL 維持加算

	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度
年間合計算定数	483	523	589

利用者（要介護）の ADL を評価・報告し一定の基準に達していれば算定できる加算です。令和 4 年度は下位加算の ADL 維持加算Ⅰの算定となっており（年度毎に条件が算出される）算定回数は増えていますが単価が半分の為、前年度と比較すると報酬減となっています。

令和 3 年度《ADL 維持加算Ⅱ》 60 円×523 回＝31,380 円

令和 4 年度《ADL 維持加算Ⅰ》 30 円×589 回＝17,670 円（令和 3 年度より－43.6%）

V、目標の収入と実績について

収 入			
科目	予算額	実績額	達成率
介護保険事業収入	65,821,000	66,172,654	100.5%

支 出			
科目	予算額	実績額	達成率
人件費支出	46,951,927	47,477,319	101.1%
事業費支出	9,561,391	9,967,933	104.2%
事務費支出	3,168,000	2,996,536	94.5%

（人件費率 71.7%）

VI、利用登録の状況について

① 新規利用の経路

みづま居宅	城島居宅	包括	その他居宅	合計
3 件	9 件	3 件	8 件	23 件

②利用終了の事由

他界	特養 入所	長期 入院	長期 SS	みづま 館へ	他施設 入所	本人 都合	他事業 所へ	合計
5 件	1 件	4 件	0 件	1 件	3 件	1 件	0 件	15 件

新規利用の相談は 23 件(介護 12 件、総合事業 11 件)とやや少ない結果です。令和 4 年度の傾向としては、他事業所からの新規相談が 11 件（介護 4 件、総合事業 7 件）と多かった結果です。当事業所の広告チラシ及び空き情報のチラシの配布を他事業所ケアマネージャーへ継続的に実施したことにより、当事業所のサービスを知って頂き新規利用に繋がったケースもありました。利用中止のケースについて、例年 20 件前後の利用中止がありますが、令和 4 年度は 15 件と少ない結果となっています（令和 3 年度は 14 件の利用中止）。利用中止が少ない理由

として、概ね生活や体調が安定している要支援や要介護の軽度者の利用が多くなってきていることが考えられます。

VII、令和4年度の取り組みについての評価

◎令和3年度の重点目標として以下の3点を挙げていました。

i. 利用登録者数の増加

- ・利用登録者数は増加の傾向にあります。要介護認定の方、総合事業の方共に増加している状況であり、総合事業（要支援認定）の方が更新認定によって要介護になるケースもあり、引き続き当通所サービスを利用することができています。今年度は感染症の影響もあり、折込などの積極的な広報は実施しませんでした。居宅介護支援事業所に対してはサービス内容や空き状況を記載したチラシを作成し、城島・三潆・大川市などの事業所をメインに配布しリアルタイムの情報発信に努めています。

ii. 感染症対策の徹底

- ・令和4年度は感染拡大の状況や行政からの注意喚起を指標にしながら、面会や外部との接触を制限したり、消毒やマスク着用、手洗い、換気、検温、密の回避など基本的な感染対策を引き続き徹底しました。そういった取り組みがお客様にも伝わり、取り組みに協力して頂けることや安心して利用いただけることに繋がっています。

iii. 個別機能訓練の強化

- ・ご利用者一人一人の症例（評価や訓練状況）をシニアマネージャーへ報告し、助言・指導をして頂く事で、私たち自身の視野も広がり、訓練内容に幅が出来たと思います。またご利用者にとっても提供できる訓練内容が増える事で、今までよりも身体機能・能力の向上が見込めたと思います。地域リハビリテーション活動支援事業（元気リハ・令和4年度事業）への参加・支援について、今年度は、包括支援センターからの新規団体立ち上げの依頼はありませんでしたが、既存団体からの支援要請がありました。しかしコロナ感染症状況の悪化や人員不足によるマンパワーの低下により対外活動が困難な為、中止とさせて頂きました。来年度は、感染状況の緩和、人員不足が解消される事で、対外的な活動も再開できると考えています。

◎感染症に関する状況について

・感染症による事業への影響

当デイサービスセンターをご利用のお客様、及び、お客様のご家族のコロナウイルス感染、デイサービス職員やその家族の感染が、年間を通して20ケース程度発生しました。感染の当事者にいち早く情報を入れて頂くようにしていたことで早い段階で対応ができ、デイサービス内での感染拡大には至らず営業休止などの措置をとることはありませんでした。感染対策担当と連携しながら、基本的な感染対策を継続実施しています。

IX、令和4年度行事の実施状況

	行 事		行 事
令和4年4月	・誕生会 ・園芸活動 ・運動週間	令和4年10月	・バスハイク(コスモス見物) ・レクリエーション大会 ・誕生会 ・感染症研修(職員)
令和4年5月	・母の日(写真のプレゼント) ・バーベキュー ・誕生会	令和4年11月	・バスハイク(七木地蔵) ・誕生会
令和4年6月	・父の日(写真のプレゼント) ・ものづくり(苔玉づくり) ・誕生会・バスハイク(麦米) ・虐待防止研修(職員)	令和4年12月	・クリスマス忘年会 ・ものづくり(カード作り) ・誕生会
令和4年7月	・七夕(壁面飾りづくり) ・誕生会	令和5年1月	・ほっけんぎょう ・誕生会
令和4年8月	・誕生会	令和5年2月	・節分 ・ものづくり(ひな飾り) ・誕生会 ・接遇研修(職員)
令和4年9月	・敬老会 ・誕生会	令和5年3月	・桜見(園内で鑑賞のみ) ・誕生会

- ・8月の夏祭りは感染拡大(第7波)の影響により中止
- ・外出行事の一部中止
- ・シアターデイ(暗室での映画鑑賞会)を全面中止
- ・カラオケなど歌を主とする催しやレクリエーションは中止

令和4年度 ケアハウス ふれあい荘 事業報告書

1. 概要

入居者の高齢化に伴い、要介護認定を受ける入居者は増加傾向にあります。要支援・要介護状態になっても、外部サービスや特定施設入居者生活介護サービスなどを利用しながら、ケアハウスでの生活を継続できるよう支援してきました。

令和4年度は、2名（特定1名、一般1名）の退居（特養への入所、他施設への入所）と、それに伴い新規4名（特定2名、一般2名）の入居がありました。

入居者1名がコロナ感染しましたが、感染対策の徹底により入居者間の感染を防ぐ事が出来ました。

レクリエーションでは、コロナの影響もあり行事が思うように実施出来ませんでしたが、感染対策を行う事で去年と比較すると外出行事等が増えました。入居者の希望や要望を取り入れ少しでもストレスが軽減出来るように行事を実施致しました。各部署からの応援もあり行事が円滑に行えました。

2. 4年度の利用状況と実績

・令和4年度 年間入居率 = 95%

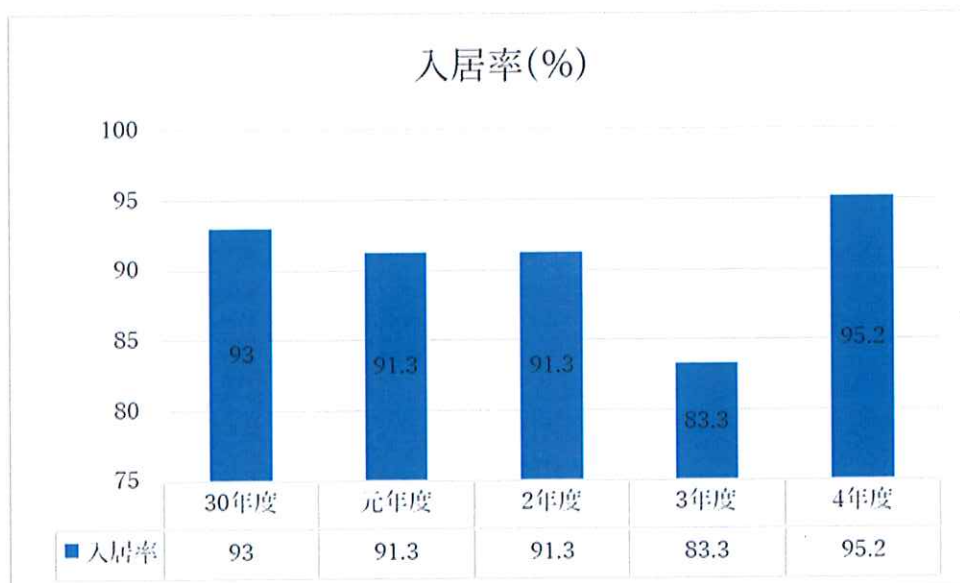
一般・・223名(平均18,5名) 特定・・110名(平均9,16名) 合計・・343(平均28,5名)

30年度・・(27.2名) 元年度・・(27.4名) 2年度・・(27.4名) 3年度・・(25名)

※年間入居率は、入居者が満員になった状態が1年間続いた時の人数(30名×12か月=360名)を100%とします。

入居者平均年齢 平均年齢 87.5歳(女性 88歳 男性 85歳)

・昨年度(299名)と比べ入居者数(44名)が増加致しました。



入居申し込み状況 (8 件)

月	4 月～6 月	7 月～9 月	10 月～12 月	1 月～3 月
人数	0 名	3 名	4 名	1 名

前年度は 11 件でした。入居問合せは居宅支援事業所、病院、市役所、からの問い合わせが多かったです。その他、入居者家族や以前入居されていた家族、他施設（ケアハウス）からの入居問い合わせも数件ありました。

3. 事業実施計画に対しての具体的な評価

① 入居者の安心・安全な生活の支援及び職員との交流

- ・入居者の緊急連絡の手段として居室内にコールボタンが 2 か所設置してありますが、緊急時に作動するように毎月の点検、修理、交換を行い緊急時に対応出来るように取り組みました。
- ・レクリエーションでは、感染対策を行いゲーム大会や、焼き芋、バーベキュー、外出行事、ミニ夏祭り等の行事の開催を行いました。外出行事には職員が私服を着用し、家族的な雰囲気での買い物を行いました。入居者からの要望があり回転焼き、恵方巻きの買い物代行を行いました。

② 入居者 30 名の確保とケアプランの見直し、他職種連携について

- ・入居者獲得の対応として、ホームページや空き情報のお知らせ（居宅事業所、病院、市役所、民生委員）を行う事で問合せも増えました。30 名入居には至りませんでしたが、前年度に比べると入居率はアップしました。
- ・他施設（ケアハウス）より介護が必要になった入居者の紹介をして頂く事で申し込みが増えました。
- ・特定者のプランにつきましては、本人、家族の要望を取り入れ、その人らしく生活ができるよう支援致しました。入居者の状況により、介護保険認定の手続きやプランの見直しや区分変更を行い、介護が適切に受けられるよう実施致しました。
- ・他職種連携では、居宅事業者や病院、施設の関係者との情報共有や連携を図る事により、入退居、入退院、介護サービスの提供をスムーズに行う事ができました。

4. 収支状況

収入	4 年度目標数	4 年度実績	達成率
利用者延べ人数	360 名	343 名	95%
総収入	63,041,000 円	62,300,789 円	98%

支出	予算額	実績額	執行率	人件費比率	職員増減数
事業費支出	11,576,000 円	9,837,264 円	99,6%	50.519.761 円	増 0 名
事務費支出	5,589,000 円	3,866,615 円	69%	81,7%	減 0 名

- ・ R3 年度（延べ人数 329 名 ・ ・ 総収入 64,110,934 円）に比べ R4 年度は 343 名と入居者延べ人数は増加しましたが、特定利用者の認定介護度（要支援者）の増加と高所得者（利用料）の減少が原因と思われます。

- ・ 現在の職員数 ・ ・ 常勤 7 名（相談員 1 名、看護師 2 名、介護員 4 名）

※介護員現在 1 名入院中

5.運営

1-1 ・ ・ 日常生活相談 （相談、苦情）

（相談 2 件数件）

- ・ 入居者同士会話をしていたら、シルバーカーに置いてあったバックを他入居者が勝手に開けられていたと相談がありました。その方は気付かれてなかったが周りの方々は気付かれたとの事。バックを開けられた入居者は、悪気があって開けられたのではなかった様子。職員へ周知し他の部署（ヘルプ）へも説明し何かあったら報告してもらうよう依頼しました。
- ・ 他入居者より食堂のお茶を汲んだり、ロビーでテレビを観ている事に対して生活費を削っていると噂されていると相談がありました。気にされず自由に使用していい事を説明すると気が楽になりましたと話されました。

（苦情件数 1 件）

- ・ 同席（1 便目）の方の食事が遅く、長い時間待つ事が何度もあった。その為、ゆっくり食事が出来ず自分一人になり薬も持ち帰り居室で服用したと立腹した口調で話される。同席の方には最近食事を提供する時間が早くなり、食事が冷めてしまうので定時の時間より早めに来て頂くように説明し食事時間表をお渡しする。その後は、時間通り来られるようになりました。

1-2 ・ ・ 事故報告

（事故件数…27 件）

- ・ 入居者の高齢化に伴う、身体機能低下による事故が発生しております。
- ・ 居室内での移動時の転倒事故が多発しました。
- ・ 骨折事故もあり、コールを事前に押す事や、不安な場合には職員へ相談してもらう事で、事故を防げた事例もあると思われます。
- ・ 事故を未然に防ぐためにも、ひやりはっと報告書を活用していく必要があると思いました。

（事故内容）

- ・ 転倒 22 件 ・ 外傷 4 件 ・ 打撲 1 件

（対策について）

- ・ 事故防止委員会を開催、実施致しました。事故があればその都度、検討会を開催し個別ごとに事故への対策・対応・リスクの早期発見が出来るようにしました。主な対応としては、行動に不安がある場合にはコールを事前に押してもらうよう説明、コールが押しやすい場所への設置、その他、移動時には手すりやシルバーカーの使用、日頃の声かけ、見守り、付添いを行い居室内の環境整備、を行い事故防止に取り組みました。入居者自身、本人の身体機能と向き合い、過信せず行動する事を説明し、危険要素を発見する事で事故防止に繋げていきます。

一般入居者…9 件

月	4 月～6 月	7 月～9 月	10 月～12 月	1 月～3 月
事故件数	2 件	2 件	4 件	1 件

特定入居者…18 件

月	4 月～6 月	7 月～9 月	10 月～12 月	1 月～3 月
事故件数	6 件	4 件	3 件	5 件

1-3・・・職員の資質向上

職員の知識や質の向上を図るため、以下の研修に参加致しました。

- ・高齢者虐待防止・権利擁護研修 ・感染症予防研修（動画配信）
- ・内部研修・事故防止、リスクマネジメント、接遇、身体拘束・虐待、感染症

※コロナ対策や職員不足のため研修の参加が減りました。

来年度は、多くの外部研修に参加し職員の質の向上を目指します。

1-4・・・行事について

- 5 月 サザンモールショッピング
- 7 月 セタ祭（ところてん）
- 8 月 ふれあいの集い（ミニ夏祭り）
- 9 月 敬老会・入居者健診
- 10 月 ふれあいの集い（バーベキュー）
- 11 月 焼き芋
- 12 月 クリスマス忘年会
- 1 月 ほっけんぎょう（合同）・初詣
- 2 月 節分
- 3 月 ふれあいの集い（ミニお花見）

※その他行事・・・誕生会、散髪、ショッピング、代行ショッピング（回転焼き、お寿司等）

コロナの影響のため思うように行事ができませんでしたが、今後も工夫しながら入居者が楽しんでもらえる企画を実施して行きたいと思います。

<新型コロナウイルス感染対策について>

昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染対策に取り組みました。職員、入居者の検温、館内の消毒、手洗い、マスク着用、対面での食事を避けるため食事時間の分散やアクリル板の設置を継続しました。昨年度までは、感染状況に応じた面会や外出の制限がありましたが、本年度は、ロビーで 15 分間の家族との面会や外出の制限がなくなり、入居者のストレス軽減を図ることができました。また、本年度は、入居者 1 名、職員 2 名の感染が発生致しました。感染した入居者に対しては、個室隔離、防護服、マスク、フェイスシールド、キャップ、足カバーの着用、手洗い、消毒を徹底し、他への感染防止に繋げることができました。

令和4年度 特定施設入居者生活介護 事業報告書

1. 概要

令和4年度も「明るく、楽しく、安心・安全に過ごしましょう」といったテーマを掲げ、職員一同業務に取り組んで参りました。

4年度の上半期は、入退居の変動が少なく要介護度認定が軽い状況が続きましたが、下半期に、再度介護度の見直しを行う事で要介護認定の変動がありました。

一般入居者から特定利用者に移行された方が1名でした。

2. 4年度の利用状況と実績

収支報告 (介護保険事業収入)

	予算	実績	達成率
3年度	18,288,000 円	18,000,464 円	98.4%
4年度	18,832,000 円	15,032,476 円	79.8%

前年度(令和3)に比べ介護保険収入が減少致しました。軽度(要支援)の利用者が増え、特定利用者数の受け入れ人数が減少した事が原因と思われます。

特定利用者の介護度、延べ人数 (3年・4年度比較)

介護度	支援1	支援2	介護1	介護2	介護3	介護4	合計(名)
3年度	0	21	54	5	33	0	113
4年度	27	29	36	5	12	1	110

2-1・・特定施設入居者生活介護利用状況

入浴・排泄等の身体介護では、ケアプランに基づく個別対応・計画・評価により適切なサービスの提供が行えるよう取り組んで参りました。また、入居者が高齢になっても安心・安全に生活できるよう、心身状態の把握を行い、職員間の情報共有及び家族、関係機関との連携を行い適切な支援に繋げて行きました。

4年度は、介護度が軽度の利用者が多く特定利用者数も前年度に比べ減少しました。

2-2・・環境整備

入居者の高齢による下肢筋力(体力)低下により、居室での転倒が増加傾向にありました。

そのため、転倒の危険性がある方には、居室内の環境整備や日頃の行動を観察し危険、予知を高め、歩行不安定の方には、押し車や歩行器をレンタルし転倒防止に努めました。

- ・入居者居室換気扇交換
- ・食堂レースカーテン交換(防災)
- ・館内ネズミ駆除
- ・1F男子トイレ小便器自動水栓取替工事
- ・入居者居室の中戸レール交換、ガラス戸調整
- ・1F南側防火扉修理

2・3・・・特定施設介護サービス計画

- ・介護計画の作成については、入居者の生活状況、身体機能、精神面から評価を行い、入居者家族の意見を含め、担当会議を開催しました。
- ・介護サービス計画については、身体状況・精神状況の変化時、または介護保険の更新時期の見直しや区分変更を行い入居者のニーズに沿ったプラン作成を行いました。

<今後の課題>

- ① 入居者の安全・安心な生活の支援、及び不利のない入居者への対応
 - ・悩みや訴えを気軽に相談できる関係性を築き、日常的な会話や傾聴を行う事により、信頼関係を更に深めて行く必要があります。
 - ・環境整備や職員による注意喚起を促し、事故防止に努めます。
 - ・入居者にとってどのような支援や援助方法が適切であるかを見極め、職員が協力し合い問題解決に取り組んでいきます。
- ② 多彩なレクリエーションの実施、継続
 - ・感染対策を前提に、多くの人が参加できる行事、入居者同士が楽しめる行事、個別で楽しめる行事を実施していきます。
 - ・介護予防や体力増進、健康維持が保てるレクリエーションの実施を行います。
- ③ 他職種連携のとれた体制作り
 - ・他職種との連携を図り、本人にとってより良いサービスの提供、支援、実施を行うと共に入居者がスムーズにサービスが受けられる体制作りを目指します。
- ④ 入居者獲得と業務の効率化・負担軽減
 - ・業務の効率化、負担軽減を行うために、安定した職員の確保、入居者が自分で出来る所を増やし自立に向けた支援を行う事で負担軽減を図っていきます。
 - ・今後、特定利用者の重度化が進んでくなく、ケアハウスでの生活が困難になられた場合には、本人、家族の意向に沿いその人らしく生活ができる施設の紹介等を行っていきます。更に特定利用者を優先的に受け入れる事で入居者獲得に繋げていきます。

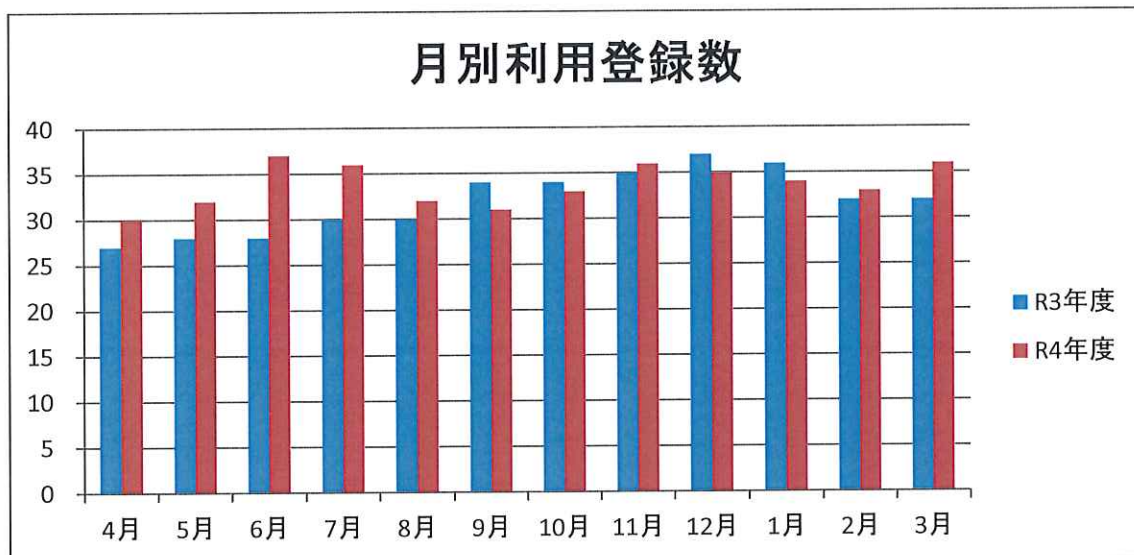
令和 4 年度事業報告

ふれあいの園ホームヘルプ事業

介護保険において、介護が必要となられた利用者に対し、可能な限りその居宅において、有する能力に応じ、自立した日常生活を営むことが出来るよう、居宅サービス支援計画をもとに訪問介護計画を作成し、身体介護、生活援助、総合事業のサービスを提供いたしました。

①令和 4 年度の利用状況と実績

今年度も空き状況を居宅支援事業所や包括支援事業所へ配布を行いました。前期は前年度を上回る登録者数でしたが、在宅生活が困難となられ長期入院や施設入所等になられた為月平均では前年度と変わらない登録者数となりました。



②事業実施計画に対しての評価

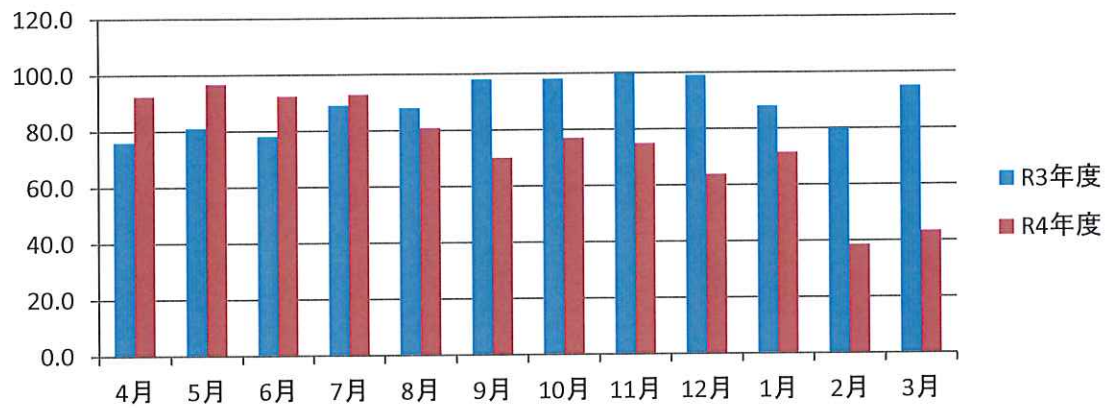
(1).研修会を実施し認知症や身体介護が必要な方などに対する介護能力の向上を図る

身体介護は前年度を下回り R4 年度は月平均で 74.6 時間、前年度と比較すると月平均で 14 時間減でした。

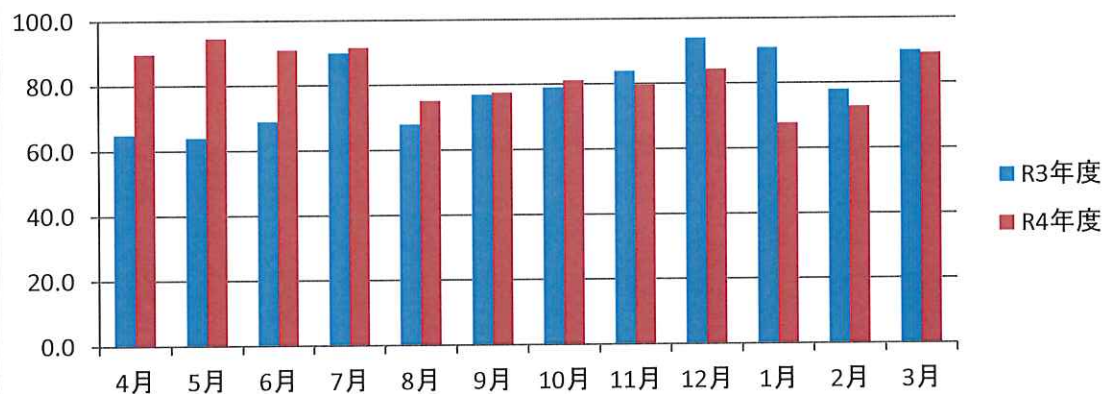
生活援助は前年度を上回り R4 年度は月平均で 82.9 時間、前年度と比較すると月平均で 3.8 時間増でした。

総合事業は前年度を上回り R4 年度は月平均で 67.1 時間、前年度より月平均で 7 時間増でした。

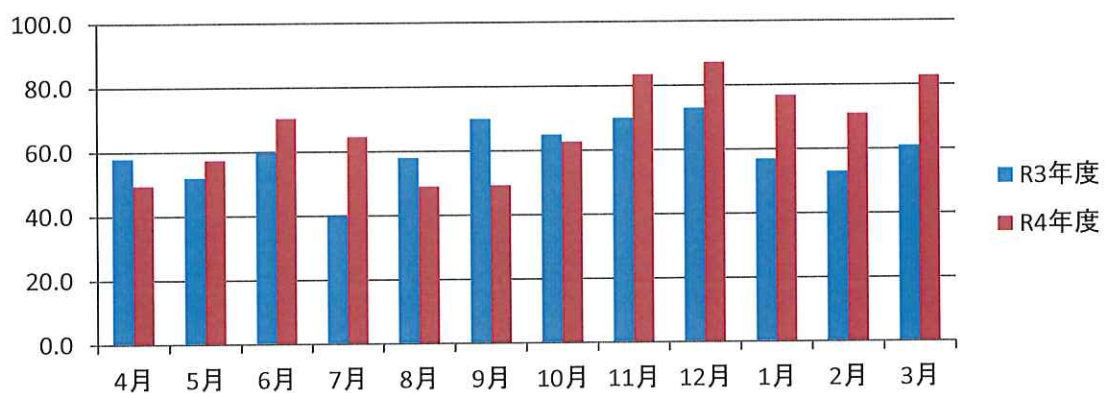
身体介護利用時間数



生活援助利用時間数



総合事業

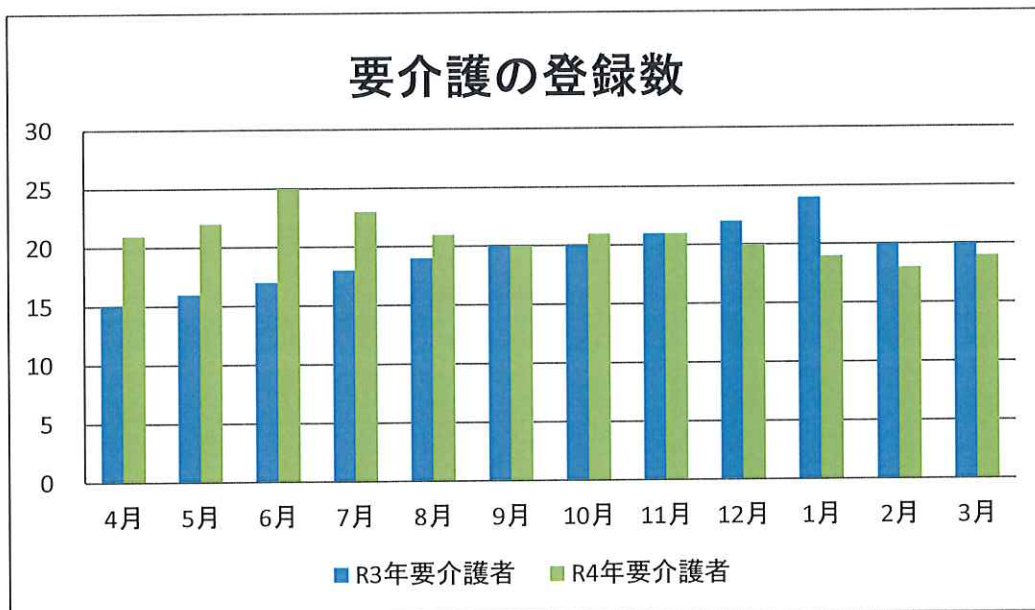
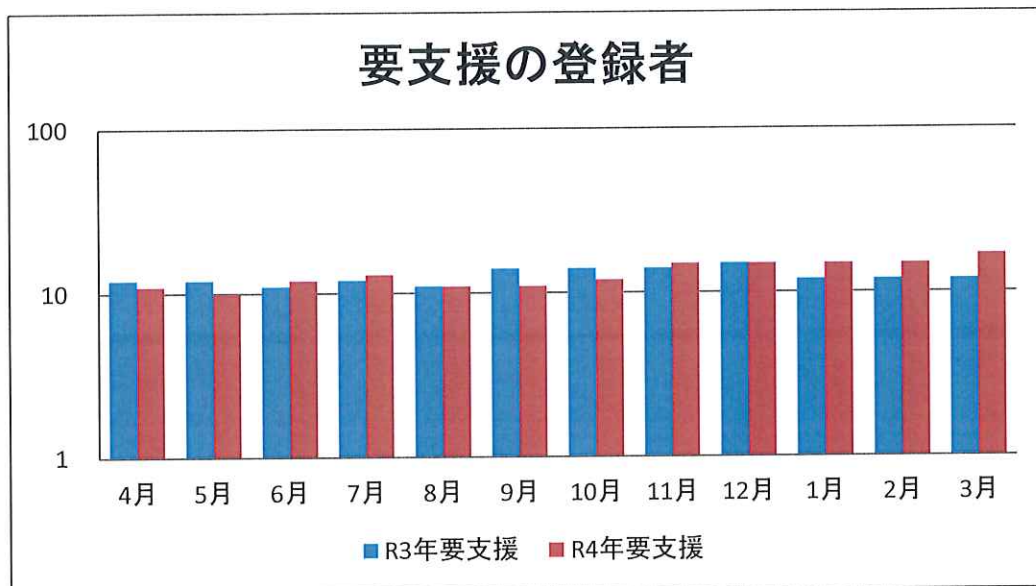


(2).活動地域内での利用者を増やす。

(2)－ 1

空き状況を居宅介護支援事業所や包括支援センターなどの関係機関に配布を行い利用者増加に努める。

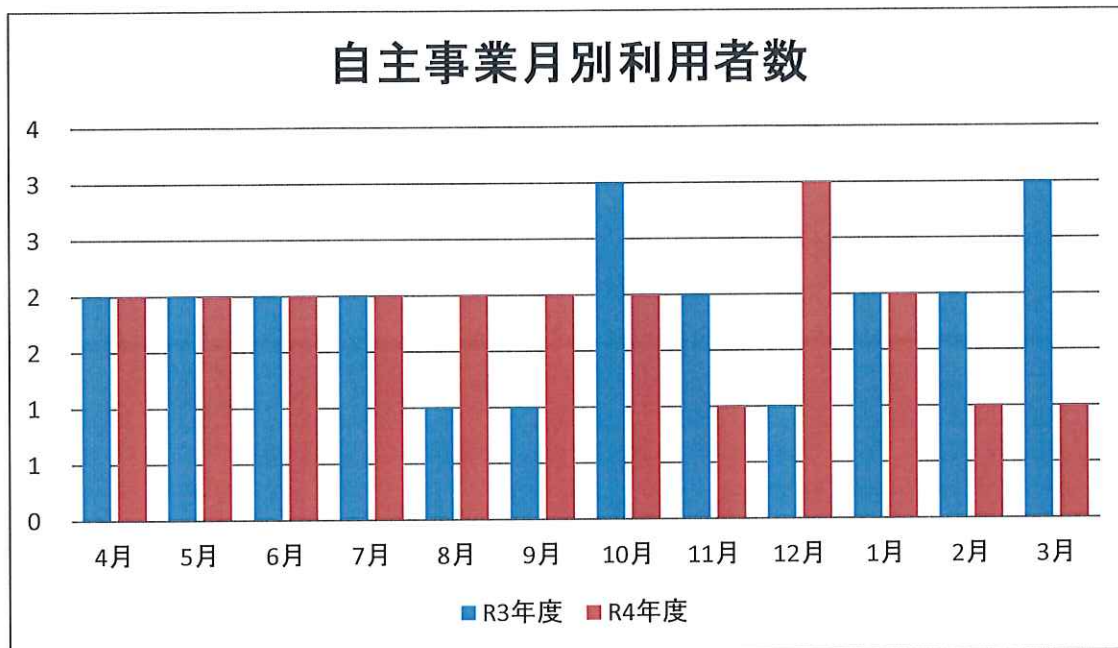
R4年度は、19名の新規利用登録がありました。(要介護者7名、要支援者12名)



(2)ー2

介護保険は対応出来ないニーズに対して自主事業訪問介護を提供し利用者の満足度向上をはかる。

R4 年度の利用者は月平均で約 2 名でした（昨年同様）。内容は介護保険では適用されない同居家族世帯の掃除が主でした。



③令和 4 年度事業計画に対する数値目標達成率

年間収入目標 11,200 万円に対し年収入 10,633.5 万円で達成率 95%でした。

年間支出予算 87.2 万円に対し年間支出 87.3 万円で 1%増でした。

人件費の内訳は常勤（2 名）・パート（1 名）・登録ヘルパー（2 名）

<収 入>

科 目	R4 年度目標数	R4 年度実績	達成率
利用のべ人数	372	441	118%
介護保険事業収入	11,200,000	10,633,529	95%

<支 出>

科 目	R4 年度目予算	R4 年度実績	執行率
事務費支出	392,000	312,561	82%
事業費支出	480,000	561,240	116%
人件費支出	10,766,000	10,054,464	93%

(総括)

令和4年度は、登録ヘルパー1名が家庭の事情により9か月程休職しましたが、月平均の登録者数は令和3年度と変わらない登録者数を維持する事ができました。今後も、「自立生活支援のための見守りの援助」を明確にする事で身体介護利用に繋げたいと思います。また、現行サービスを引き続き維持出来るように介護能力向上の為の研修を行いたいと思います。現在は休職していたヘルパーも復職致しましたので以前のように5名で事業を行えるようにはなりましたが、供給できる人数に限りがありますので、常勤・パートの稼働を上げる為に現在取り組んでいる内容（変更可能な利用者に対し、曜日や訪問時間変更の了承を頂く事で稼働を上げる）は継続して行きたいと思います。

同一法人以外の居介護宅支援事業所に対し、営業活動を強化する為サービス提供の空情報のチラシを作成し情報発信するとともに、地域包括ケア会議等に参加し当事業所の広報活動を行い他業種との連携を図り新規利用者の獲得に努めたいと思います。

令和4年度 在宅支援室事業報告書

在宅支援室は、介護・福祉・医療の総合相談窓口及び、校区サロンや老人会等の出前講座を中心とした地域貢献を主に活動して参りました。

令和4年度は、新型コロナウイルス感染症の影響が続くものの、令和3年度と比較し感染対策や開催内容、時間の工夫を行った上で活動再開するサロン等も増えてきております。これに伴い、出前講座の問い合わせや開催時の講師派遣などのご相談も増加傾向となりました。新型コロナウイルスの影響だけでなく、ボランティアの高齢化や開催方法、内容など校区サロンや老人会等、抱える問題は様々であり今後、地域との情報共有、連携の図り方についても再構築していく必要があると感じております。

重点目標に対する実績及び評価

1. 地域（校区）の抱える課題及びニーズを抽出し、必要とされる地域（校区サロン、老人会等）の支援、新たな校区活動の推進と社会資源の構築

令和4年度は、出前講座に関するご相談は増加傾向にありますが、介護、福祉、医療面での総合的なご相談については、令和3年度に続き減少傾向にあります。コロナ禍により積極的な訪問等を控えていたこともありますが、在宅支援室の役割をより多くの方々に知って頂く取り組みができていなかったことも改善点としてあげられます。

〈活動実績件数〉

	令和3年度	令和4年度
訪問件数	18件	16件
相談件数（電話・来園）	26件	37件
代行申請	0件	1件
居宅移行	0件	0件
出前講座（ふれあいの園独自）	6件	12件

城島町出前講座

令和3年度に続き、新型コロナ感染症拡大・蔓延防止のため、老人会や地域活動の自粛に伴い、町内事業所連携による城島町出前講座も積極的な活動を控えることとなりました。その結果、令和4年度城島町出前講座の実績は、3件となっております。

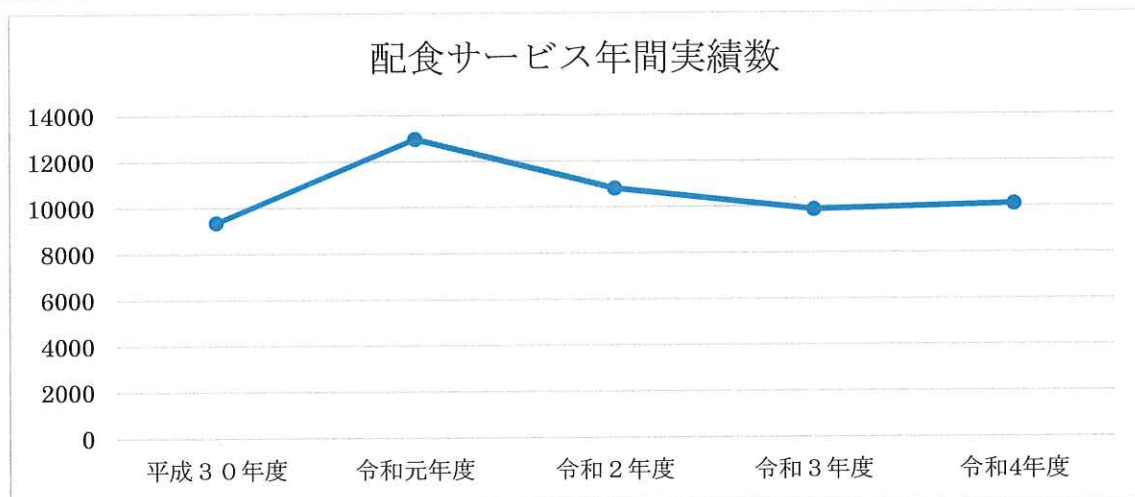
在宅支援室は、城島町内事業所連携の出前講座の広報活動、総合相談及び受付窓口としての機能は維持しておりますが、コロナ禍により積極的な広報活動は行っておりません。

2. 充実した配食サービスの提供

令和3年度と比較し、配食サービスの収益は僅かながら増収傾向にあります。その要因として、状況（人材、配達ルート等）に応じた新規受け入れの再開、またご利用者の加齢及び心身状態の低下によるご利用回数の増加等があげられます。栄養バランスの取れた食事がしたい、家事負担、介護負担の軽減等ご利用理由は様々ではありますが、配食サービスを利用することで、在宅生活の維持が図れているケースもあります。今後も、新規ご利用希望に対し、可能な限り対応ができるよう管理栄養士、配達員との連携に努めて参りたいと思います。

過去5年間の配食サービス実績については下記の表の通りです。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
平成30年度	630	672	650	743	786	797	766	798	863	793	922	942	9,362
令和元年度	927	970	1,108	1,176	1,093	1,112	1,193	1,150	1,166	991	1,031	1,048	12,965
令和2年度	973	940	905	942	944	1,004	1,034	872	887	820	844	843	10,808
令和3年度	859	909	924	875	742	814	817	788	894	782	607	864	9,875
令和4年度	802	794	770	839	903	832	904	920	893	811	782	880	10,110



*令和3年度配食収入 4,678,900 円、令和4年度配食収入 4,875,941 円（前年比 197,021 円増）

*配食サービスは、一食 500 円（おかずのみ 450 円）にて提供しております。

3. ふくおかライフレスキュー事業（生計困難者への総合支援等）への参加

レスキュー事業の実施にあたっては、福岡県社会福祉協議会、久留米市社会福祉協議会、民生委員・児童委員等の関係機関・団体等との連携を図りながら実施する仕組みとなっておりますが、令和4年度におけるご相談は発生しておりません。

令和4年度ふれあいの園みづまケアプランサービス事業報告書

① 令和4年度の利用状況と実績 ② 収支状況について

◎令和2年9月に介護支援専門員1名の職員数減があり、それ以降は2名体制で業務を遂行しており、今年度に関しても職員体制に変更はありません。

介護予防の利用者数は、令和3年度の介護支援専門員の1名あたりの平均利用者数は月平均3.9人。令和4年度は、月平均で5.5人と利用者数が増加した状況です。

介護の利用者数に関しても、令和3年度の平均利用者数は月平均30.5人。

令和4年度が、月平均で31.2件と利用者数が若干増加しました。

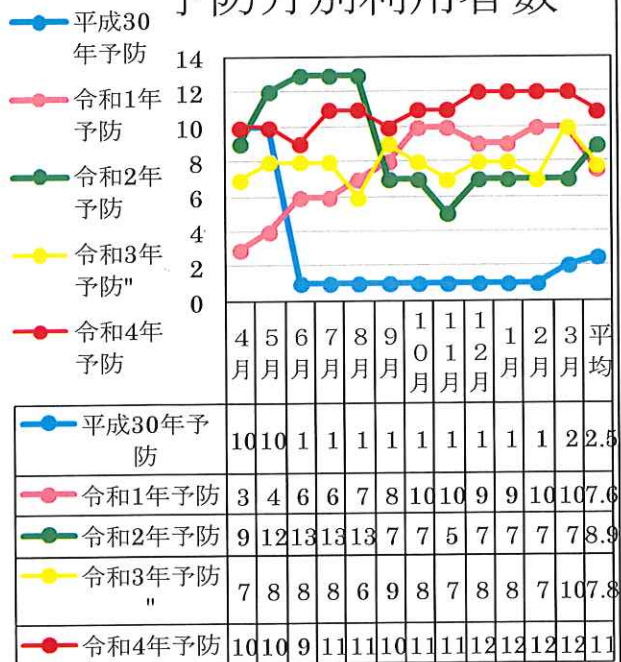
ただし、収入に対しては、91%の達成率で目標数値には達していない状況です。

【数値目標に対する実績数】

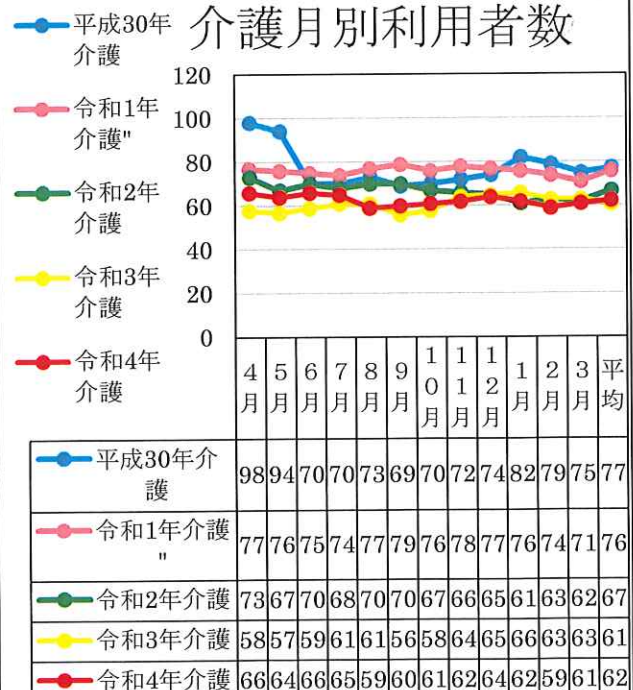
	令和4年度（目標）		令和4年度（実績）		達成率	
	介護	予防	介護	予防	介護	予防
利用者延べ人数	840人	120人	749人	131人	89%	110%
介護支援専門員数	2人		2人			
特定事業所加算（介護）	加算なし		加算なし			
月平均利用者数	70人	10人	62人	11人		
介護支援専門員1人に対しての担当者数	35人	5人	31人	5.5人		
介護支援専門員1人に対しての月平均担当件数	37.5人		36.5人		97%	
稼働率（基準担当件数35名）	107%		104%		97%	
収入	9,695,280	477,600	8,702,440	535,380	90%	112%
総収入	10,172,880		9,237,820		91%	

※ 予 防 利 用 者 は 1 人 を 0.5 件 で 換 算

予防月別利用者数



介護月別利用者数



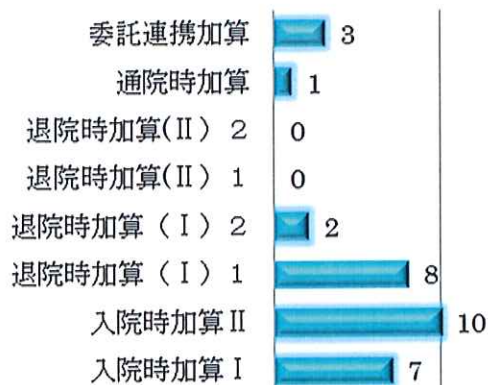
③ 介護報酬及び加算算定について

医療機関や関係機関との連携が問われており、利用者の入退院時には可能な限り連携を行い、今年度においては入退院の加算 28 件の加算を算定しております。

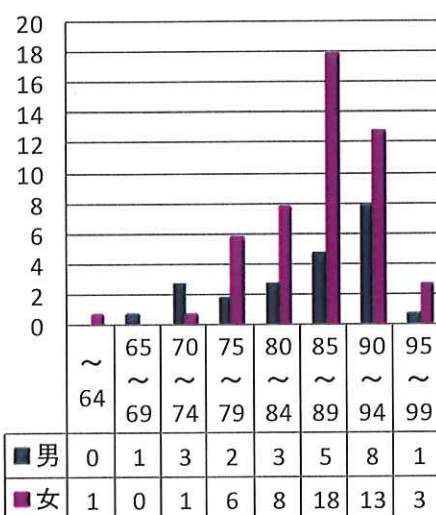
※加算詳細

- ・ 要支援 1・2 = 月 3980 円
- ・ 要介護 1・2 = 月 10760 円
- ・ 要介護 3・4・5 = 月 13980 円
- ・ 要支援においては、委託連携加算の算定あり。
- ・ その他、初回加算、医療連携加算、入退院時加算等を、その都度算定しております。

加算実績



年齢別・男女別利用者数



④ 年齢・男女別利用者数について

◎令和 4 年 3 月利用者分 (73 名)

- ・ 最高年齢は 97 歳、最低年齢は 58 歳で幅広い年齢層の利用者に対応しています。
- ・ 利用者の大半は女性の状況です。

⑤ 年度・介護度別の延べ月平均利用者人数について

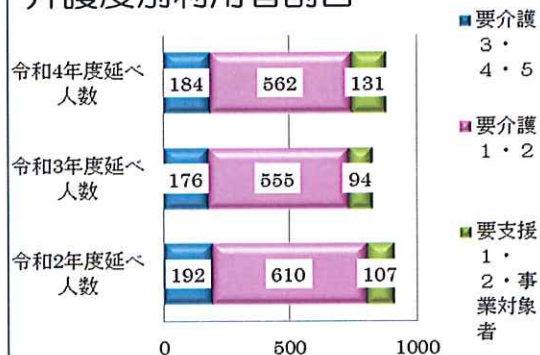
- ・ 延べ利用者は、令和 3 年度と比較すると要介護の利用者・要支援の利用者も共に増加しております。(コロナ禍による利用控えのケースは 2 件)

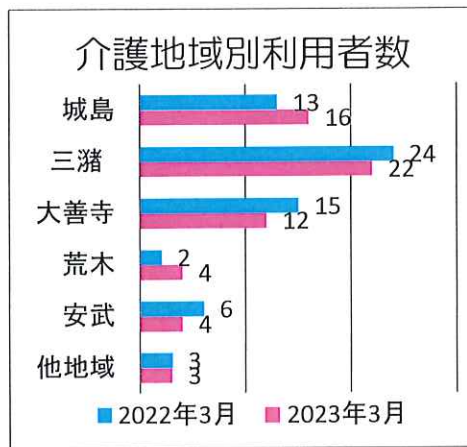
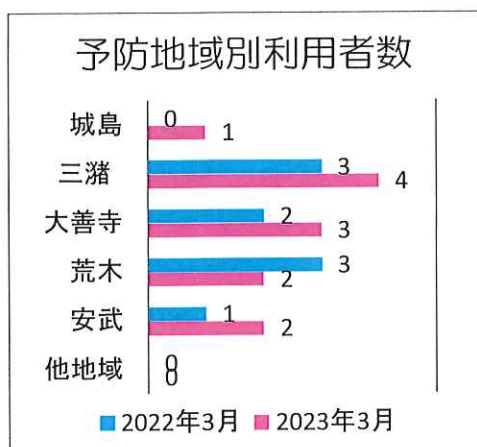
・ 要介護 1.2 の軽度の利用者と介護 3・4・5 の重度の利用者の割合的な変動は少ない状況です。

⑥ 利用者の地域別分布について

- ・ 令和 3 年度と同様に、三潞と城島の利用者が過半数を占め、大善寺・荒木・安武の西圏域全体と佐賀方面の一部の利用分布に変化はありません。
- ・ ふれあいの園ケアプランが城島に所在しており、みづまケアプランとしては、三潞・荒木・大善寺・安武地区の利用者の獲得が今後も課題であると考えます。

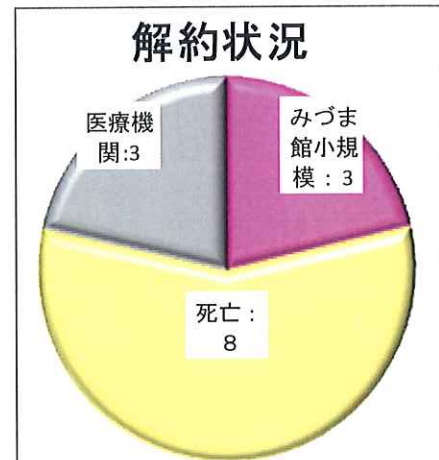
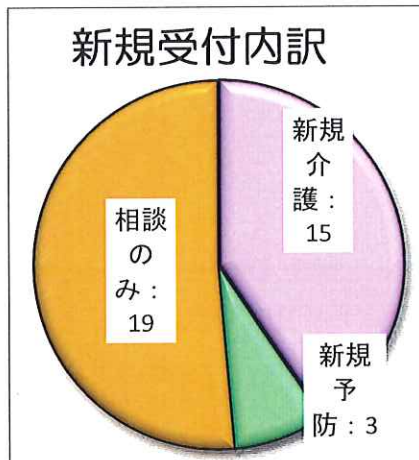
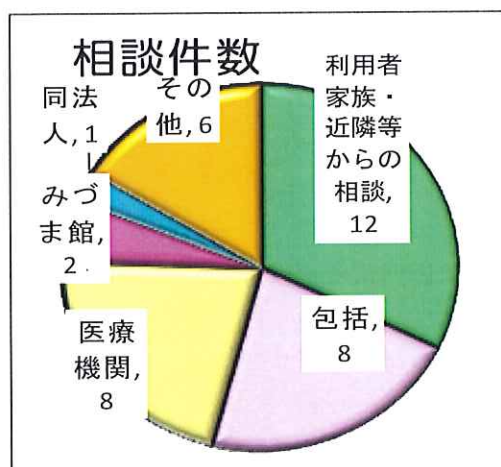
介護度別利用者割合





⑦ 新規相談経路について

同一法人や病院からの紹介など、その都度状況を確認しながら新規の相談の受け入れを行っている状況です。



⑧ 事業実施計画に対しての評価

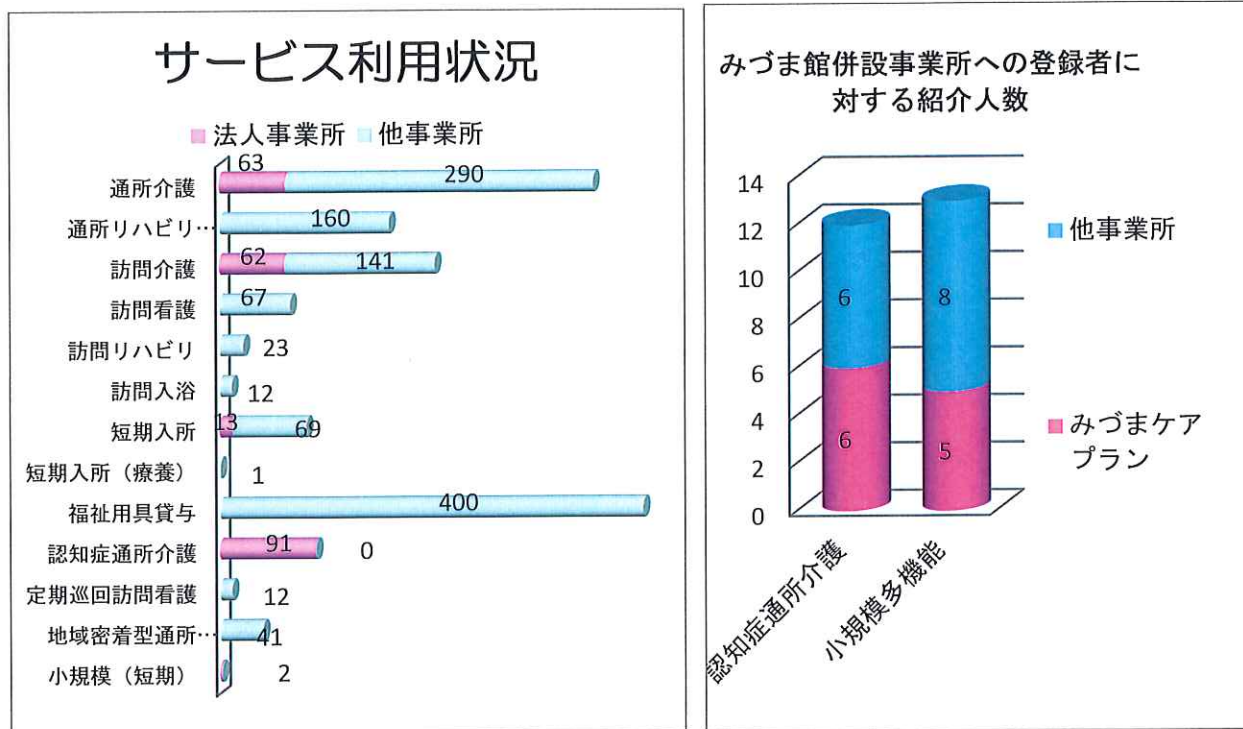
三瀧周辺の地域の中に浸透していきたいとの計画に対して、随時新規の相談に対応できるように活動を継続しておりますが、2名体制では新規の相談に対応する事が困難な状況もありました。(利用者のご家族や民生委員・病院・地域包括支援センター等の関係機関等にパンフレットを配布する等の広報活動は継続して実施してきており、一定の効果もでてきた状況です。)

今後も地域に根差す事業所を目標に、しっかりとコロナ感染や災害の対策等を行い信頼される事業所作り・継続した広報活動等を継続していく必要があると考えます

研修に関しては、コロナ禍で外部講師を招いての研修は中止としましたが、内部の研修等の継続とオンラインを活用した研修で業務順応を適切に行えるように対応しました。

- ・ 内部研修
 - 必要時の事業所内でのケース検討等
 - 感染症対策の研修(随時)
- ・ 外部研修等
 - 集団指導(オンライン)
 - 高齢虐待防止研修など(オンライン)

- ・ その他
主任介護支援専門員研修など



⑨ 今後の課題について

事業所の運営を安定させるためには、周知活動や介護支援専門員の資質の向上を目的とした研修の継続が必要と考えます。さらに介護支援専門員の事務処理を含めて、業務の効率化に意識して取り組んでいくことで働きやすい環境作りに取り組んでいきます。

ケアマネジメント業務でも感染防止を踏まえた弾力的な対応や、状況次第で通常とは違った臨時的な対応での支援を行っていきます。

※介護支援専門員の負担軽減と業務の効率化を考えると、時差出勤の検討やIT機器の活用 of 検討も必要になってくると考えられます。

※令和2年9月の介護支援専門員の職員数減から、特定事業所加算の算定が不可となり、収入面に関しては、頭打ちの状態にあります。将来的には本部との事業所の統合等も視野に入れてメリット・デメリット面について介護保険の動向の確認を行っていきます。

今後も、状況を確認しながら介護の新規の利用者を増やし、稼働率を高めると共に、三潁の周辺地域に浸透して地域での貢献度を高めていきたいと考えます。

支出	予算額	実績額	執行率	人件費
事業費支出	660.000 円	601.419 円	91.1%	11.397.183 円
事務費支出	504.000 円	564.459 円	111.9%	122.7%

令和4年度 ふれあいの園みづま館小規模多機能型居宅介護事業報告書

1 利用状況と実績について

令和4年度は、新規利用者6名・登録解約者7名でした。総登録者は、25名で、延べ利用者数平均は12.5名でした。平成30年度から令和4年度までの新規・再登録者数と解約数を見てみると、新規・再登録者が5年間の平均11.8名で解約者が5年間の平均12名でした。令和4年度では、新規利用者は6名と登録者の伸び悩みが続いております。新規利用者の紹介経路としては、みづまケアプランサービスから3人・弥永協立病院から1人・柳川リハビリテーション病院から1人・西包括支援センターから1人となっています。

登録解除者の理由としては、3人が入院。施設入所が4人となっています。

令和4年度の介護保険事業収入達成率に関しては、97.05%と目標達成出来ませんでした。

事業費に関しては、予算の執行率は、95.57%、事務費は、予算の執行率は、99.31%と想定内でありました。

人件費率は、104%となっております。

平成30年度から令和4年度までの新規、再登録者・解約者・登録人数

	H30年度			令和元年度			令和2年度			令和3年度			令和4年度		
	新規・再登録者	解約	登録者	新規・再登録者	解約	登録者	新規・再登録者	解約	登録者	新規・再登録者	解約	登録者	新規・再登録者	解約	登録者
4月	0	0	16	0	1	20	2	2	16	0	3	17	0	1	15
5月	3	0	19	2	1	21	0	0	16	1	2	15	0	3	12
6月	2	1	21	1	0	21	2	1	17	2	1	15	2	1	12
7月	1	2	21	0	0	21	1	1	17	1	0	15	0	0	12
8月	1	2	20	0	0	21	1	1	17	1	2	16	1	2	12
9月	2	1	21	1	1	22	1	1	17	1	1	15	1	1	12
10月	0	1	20	0	0	21	0	1	16	2	0	16	0	0	11
11月	1	1	19	1	2	22	2	0	18	0	1	16	0	1	11
12月	2	1	20	0	1	19	1	1	18	0	1	15	3	2	12
1月	2	1	21	0	2	18	1	2	17	1	1	15	0	0	11
2月	1	1	21	2	1	18	0	0	17	1	2	15	3	0	14
3月	2	1	22	0	2	16	1	0	18	3	2	16	0	0	14
合計・平均	17	12	20.1	7	11	20.0	12	10	17.0	13	16	15.5	10	11	12.3

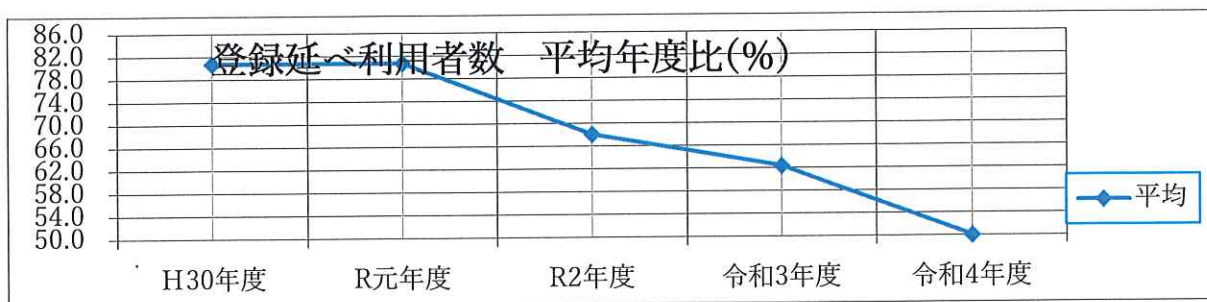
① 登録延べ利用者数

② 登録延べ利用者数 年度比(%)

	登録延べ利用者数				
	H30年度	R元年度	R2年度	令和3年度	令和4年度
4月	16	20	16	17	15
5月	19	21	16	15	14
6月	21	22	17	15	12
7月	21	21	17	15	12
8月	20	21	17	16	12
9月	21	22	17	15	12
10月	20	21	16	16	11
11月	19	22	18	16	11
12月	20	19	18	15	12
1月	22	18	17	15	11
2月	21	18	17	15	14
3月	22	17	18	17	14
平均	20.2	20.2	17.0	15.6	12.5

	登録延べ利用者数 年度比(%) 25人を100%とする				
	H30年度	R元年度	R2年度	令和3年度	令和4年度
4月	64	80	64	68	60
5月	76	84	64	60	56
6月	84	88	68	60	48
7月	84	84	68	60	48
8月	80	84	68	64	48
9月	84	88	68	60	48
10月	80	84	64	64	44
11月	76	88	72	64	44
12月	80	76	72	60	48
1月	88	72	68	60	44
2月	84	72	68	60	56
3月	88	68	72	68	56
平均	80.7	80.7	68.0	62.3	50.0

② 登録延べ利用者数 年度比(%) 25人を100%とする



③ 収支・人件費率

収入	令和4年度予算額	令和4年度実績	達成率	
介護保険事業収入	46,101,000	44,740,687	97.05%	
支出	予算額	実績額	執行率	人件費率
事業費支出	5,652,000	5,401,657	95.57%	46,697,919
事務費支出	1,885,000	1,871,984	99.31%	104%

令和4年度の登録者の平均要介護度は、2.87でした。

令和2年度の登録者の平均要介護度は、2.60・令和3年度の登録者の平均要介護度は、2.96であり令和4年度は要介護度が若干下がっている状況にあります。

平成30年度から令和4年度までの要介護度別合計を見てみると、要支援の方は全体の2.1%、要介護1・2の方は、全体の44.6%、要介護3・4・5の方は、全体の53.3%でした。令和3年度からすると要介護1・2の方も、要介護3・4・5の方も若干ではありますが、減少状況にあります。

小規模多機能は包括払いの為に、要介護度が上がり登録数が増えると良い状況になります。

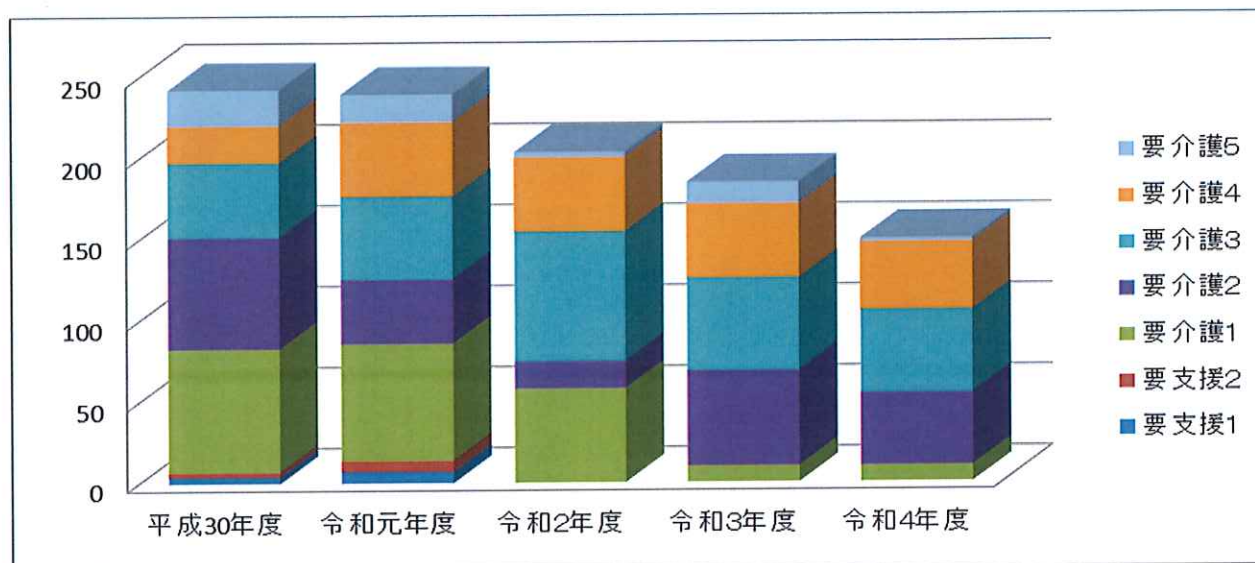
しかし、令和4年度は、要介護度は若干下がり、登録人数も減少した事により、収入は下がっている状況です。

④令和4年度 登録者の要介護度別人員(平均要介護度は、「要支援1・要支援2は0.375で計算行う」)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
要支援1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要支援2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要介護1	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2	3	3	10
要介護2	4	4	4	4	3	4	4	4	3	3	4	4	45
要介護3	6	6	4	4	5	5	4	4	4	3	3	3	51
要介護4	4	3	4	4	4	3	3	3	3	3	4	4	42
要介護5	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
計	15	14	12	12	12	12	11	11	12	11	14	14	150
月平均要介護度	3.13	3.07	3.00	3.00	3.08	2.92	2.91	2.91	2.67	2.64	2.57	2.57	2.87

⑤介護度別利用者数(登録者合計)

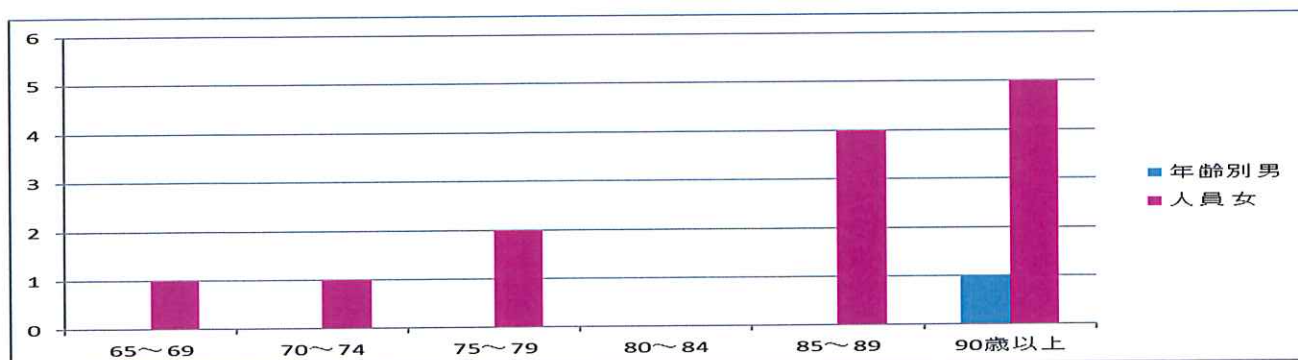
	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	要支援合計	要介護1・2合計	要介護3・4・5合計
平成30年度	4	3	76	69	46	23	22	7	145	91
令和元年度	7	7	72	40	51	46	17	14	112	114
令和2年度	0	0	58	17	80	46	3	0	75	129
令和3年度	0	0	10	59	57	46	13	0	69	116
令和4年度	0	0	10	45	51	42	2	0	55	95



令和5年3月現在の登録者の平均年齢は、86.4歳でした。

令和4年3月が87.8歳でしたので、令和4年度が若い方が若干多かったです。また、85歳以上の方が71.4%の割合でした。

⑥年齢別状況		令和5年3月現在								
年齢別		65～69	70～74	75～79	80～84	85～89	90歳以上	計	平均	最高齢
人員	男	0	0	0	0	0	1	1	90	90
	女	1	1	2	0	4	5	13	86.2	101
	計	1	1	2	0	4	6	14	86.4	



令和４年度の加算状況についてですが、サービス提供体制加算・総合マネジメント体制加算・科学的介護推進体制加算は、登録者全員にかかる加算です。看護職員配置加算については、要支援者以外にかかる加算で、認知症加算【１】【２】は利用者の状態による加算となります。登録者を増やすことで、認知症加算以外については、取れることとなります。要介護度の高い方と低い方がバランス良く登録者して頂くことで、登録者数を多くすることが出来ると考えております。

⑦令和4年度 加算状況													
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
看護職員配置加算	16	15	12	12	12	12	11	11	12	11	15	14	153
サービス提供体制強化加算	16	15	12	12	12	12	11	11	12	11	15	14	153
総合マネジメント体制強化加算	16	15	12	12	12	12	11	11	12	11	15	14	153
科学的介護推進体制加算	16	15	12	12	12	12	11	11	12	11	15	14	153
認知症加算【１】	5	4	4	4	4	4	3	3	4	4	6	6	51
認知症加算【２】	4	4	4	3	3	4	4	4	4	4	3	3	44
初期加算【延べ日数】	2	0	4	26	0	29	1	0	33	27	30	30	182
口腔栄養スクリーニング加算	0	0	2	1	3	2	0	4	0	0	3	0	15
看取り連携体制加算	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

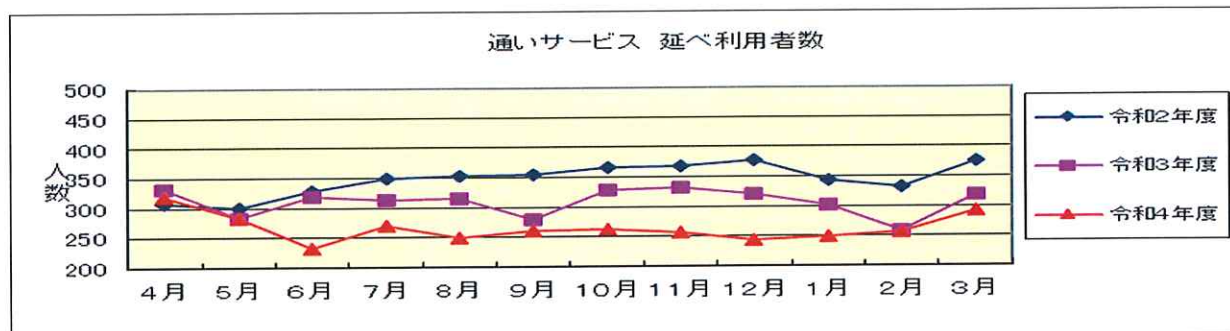
令和４年度のサービス提供は、通いサービスが１日平均 8.7、泊りサービスが１日平均 6、訪問サービスが１日平均 0.6 でした。

通いサービスのみの利用者は、月平均で 3.3 人・利用回数としては、12.1 回でした。長期泊り者(30 日以上)は月平均 5.0 人、通いと泊りの併用利用者は月平均 4.1 人、訪問利用者は月平均 3 人でした。訪問は同じ利用者で、服薬介助の為の訪問と通いサービス利用前の準備及び施設確認の訪問内容でした。

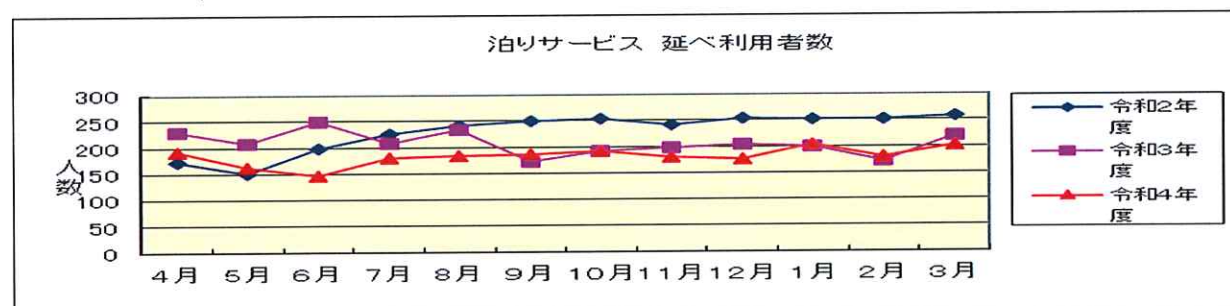
令和３年度と比べて、通いサービスが１日平均 10.1 であったものが 8.7、泊りサービスが１日平均 6.8 であったものが 6、訪問サービスが１日平均 1.4 であったものが 0.6 となり、通いサービス・訪問サービス・泊りサービス共に、登録者数が減少した事により、サービス量は減少となっております。また、泊りサービスに関しては、令和３年度より長期の泊り利用者を減らしていった為、１日平均 5 人と減少しております。

令和4年度サービス内容														
通いサービスのみのみ														
サービス内容	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
利用者数	6	5	3	4	4	1	1	2	3	3	4	4	40	3.3
利用回数	82	64	33	56	36	12	13	27	37	27	37	60	484	12.1
長期泊り(30日以上)														
サービス内容	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
利用者数	6	4	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	60	5.0
通いと泊りの併用利用者														
サービス内容	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
利用者数	3	5	4	3	3	6	5	4	4	3	5	4	49	4.1
訪問														
サービス内容	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
利用者数	2	2	21	1	1	1	1	1	1	2	1	2	36	3.0

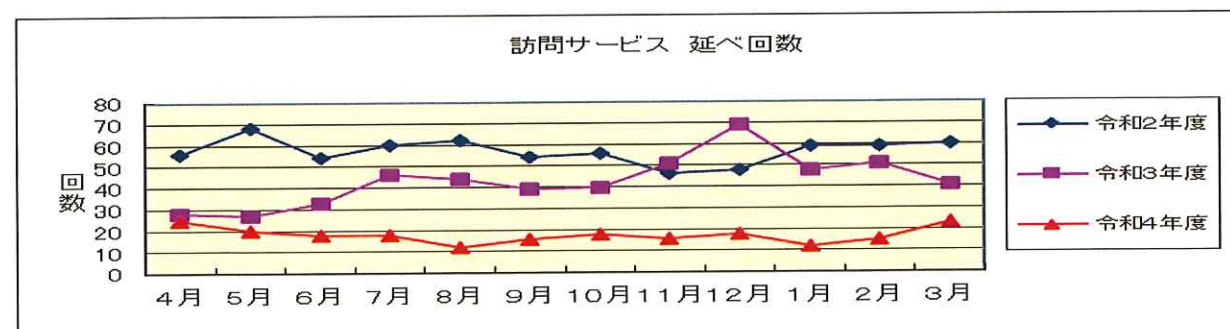
通いサービス												
サービス内容	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
令和2年度	308	300	329	349	352	355	365	367	378	344	332	376
令和3年度	332	284	319	313	316	280	328	332	321	301	259	318
令和4年度	318	283	233	270	250	260	262	256	244	249	256	292



泊りサービス												
サービス内容	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
令和2年度	172	151	198	226	241	249	253	241	253	252	252	257
令和3年度	229	208	250	208	233	173	193	198	204	201	173	220
令和4年度	192	163	146	180	184	186	193	180	176	205	181	203



訪問サービス												
サービス内容	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
令和2年度	56	68	54	60	62	54	56	46	48	59	59	60
令和3年度	28	27	33	46	44	39	40	51	69	48	51	41
令和4年度	25	20	18	18	12	16	18	16	18	12	15	23



2 職員の研修について

外部研修には、新型コロナウイルス感染拡大防止の為に参加できませんでした。内部研修については、定期的に行い、ガウンテクニック講習などを実施しました。

職員研修	
4月	内部研修(生活支援の理念と尊厳の理解)
5月	
6月	内部研修(介護職の倫理と職務・法令遵守)
	ガウンテクニック講習
7月	ガウンテクニック講習
8月	内部研修(感染症・食中毒・リスクマネジメント)
9月	ガウンテクニック講習
10月	内部研修(コミュニケーションと介護技術)
11月	ガウンテクニック講習
12月	内部研修(身体拘束・プライバシー)
	ガウンテクニック講習
1月	
2月	高齢者虐待防止研修
3月	内部研修(非常災害時の対応)

3 地域・家族との関わりについて

地域・家族との繋がりを強化する目的で、送迎時に話しを行い、泊り利用者の家族とはタブレットを活用し LINE にてやり取りを行い、生活状況を把握して頂きました。地域行事にも中止が多く全く参加出来ていません。

運営基準に定められた運営推進会議を、自治会長、早津崎民生員、尚寿会早津崎支部長、久留米市担当者、包括支援センター職員、利用者、利用者家族、職員にて行っていましたが、令和4年度は書面開催にて対応を行いました。

☆ 運営推進会議 【5月 7月 9月 11月 1月 3月】書面開催

令和4年度	地域行事	みづま館行事
4月		フラワーアレンジメント
5月	コミセン掃除	バスハイク(弓頭神社)
		母の日・誕生会
6月		父の日
7月		七夕会・誕生会
8月		ミニ夏祭り・誕生会
9月		敬老会
10月		避難訓練・誕生会
		バスハイク(七木地藏)
11月		おやつ作り・誕生会
12月		誕生会
12月		クリスマス会
1月		新春福笑い会・誕生会
2月		節分・誕生会
3月		避難訓練(事業所のみ)・花見・雛祭り・誕生会

4 重点目標について

① 職員間のチームワークの強化を図る

・処遇に迫われ、全職員で話を行う時間も取れない状態でしたが、定期的に個別で話をする時間を作り、関係性を強化出来るように行いました。

② サービス環境の整備

・計画していた、手洗い場の改修やポータブル電源の購入に関しては、収入の状況を考え実施出来ておりません。

③ 利用者の個別処遇の向上

・処遇会議等で情報の共有と、具体的な個別ニーズとケアプランの整合性を確認する作業を行い、過剰介護を行わないように取り組みました。必要ない介護に時間を費やすのではなく、必要な方への処遇の向上を行いました。

5 今後の課題について

令和4年度の事業計画に上げておりました、事業実施計画について達成出来ない計画が多かったです。アピールが足りていない状況の為、定期的な営業活動を実施し新規受入れを積極的に行い、利用者数が増加するように努力します。

サービス環境の整備に関しては引き続き行っていきます。

利用者だけでなく、職員も楽しく、業務に従事できるように改善していきたいと考えます。

みづま館認知症対応型通所介護事業所

令和4年度事業報告書

令和4年度は、利用者の新規獲得がなかなか厳しく、また職員の退職に伴い7月より木曜日の営業を中止しました。新型コロナウイルス感染症や災害で営業を中止することはありませんでしたが新型コロナウイルス感染予防の為、利用を控えたいと数名の方が1週間から1か月程休まれることがあり、少なからず営業に影響がありました。

◎重点目標の評価

1、感染対策の徹底

みづま館全体で感染症予防の徹底に努め、定期的に同線の確認やガウンテクニックの再確認の実施を行いました。

2、新規利用者の獲得

新型コロナウイルス感染流行の為、運営推進会議の書面での開催や地域への行事が少なく、参加できませんでした。チラシを作って地域や居宅支援事業所へ配布など行いましたが、なかなか利用にはつながりませんでした。

3、職員のスキルアップ

内外研修の実施・参加がなかなかできず、また話し合いの時間もとれない状況でしたが認知症基礎研修の参加は行っています。

◎収支状況

○ 収入

収入	令和4年度予算額	令和4年度実績額	達成率
介護保険事業収入	16,100,000	17,136,747	106.44%

○支出

	予算額		実績額		執行率
事業費支出	2,544,000		3,006,790		118.19%
事務費支出	922,000		822,555		89.21%
人件費	16,719,378	人件費率	98%		

◎ 利用状況について

令和4年度は、新規利用者4名、登録終了者が4名でした。表を観ても分かりますように、登録者数は減少していますが、延べ数が増加傾向にあり1人当たりの利用回数が増えていることがわかります。

年度別利用者数

	利用者数(実人数)					利用者数(延べ数)				
	H30年	R元年	R2年	R3年	R4年	H30年	R元年	R2年	R3年	R4年
4月	16	16	15	17	14	174	131	141	140	120
5月	16	16	14	15	15	183	142	137	121	133
6月	17	15	16	15	15	179	112	148	140	133
7月	16	16	16	15	14	183	142	143	122	125
8月	16	16	16	15	13	180	129	135	112	113
9月	17	17	16	14	13	171	138	135	98	119
10月	18	17	15	12	13	170	153	142	102	131
11月	18	17	16	13	13	153	156	138	99	128
12月	17	16	15	12	12	159	148	141	110	115
1月	16	16	16	12	11	127	143	137	87	96
2月	15	16	15	11	11	124	142	140	93	111
3月	15	14	15	12	12	139	131	147	112	126
合計	197	192	185	163	156	1942	1667	1684	1336	1450

(新規利用者数 4名・登録終了者数 4名)

・月平均登録者数

H30年	R元年	R2年	R3年	R4年
16.4	16.0	15.4	13.6	13.0

・1人あたりの月平均利用回数

H30年	R元年	R2年	R3年	R4年
9.9	8.7	9.1	8.2	9.3



※新規利用者紹介経路

- ・居宅支援事業所からの紹介 4名（うち他居宅介護支援事業所 3名）
- ・家族からの相談より 0名

※登録解除理由

- ・入所 0名
- ・入院 1名
- ・他サービスへ移行 1名
- ・永眠 2名

利用者延べ数年度別対比

	利用者延べ数年度対比(%) 1日定員12名を100%とする				
	H30 年	R元年	R2 年	R3 年	R4 年
4 月	58.0	42.0	45.2	44.9	38.5
5 月	56.5	45.5	44.0	42.0	42.6
6 月	57.4	37.3	47.4	44.9	42.6
7 月	58.7	43.8	44.1	37.7	47.3
8 月	55.6	43.0	43.3	38.9	40.9
9 月	57.0	46.0	45.0	31.4	47.2
10 月	54.5	47.2	43.8	32.7	49.6
11 月	49.0	50.0	46.0	31.7	50.8
12 月	53.0	47.4	44.0	34.0	43.6
1 月	42.3	45.8	48.0	29.0	34.8
2 月	43.1	47.3	49.0	32.3	46.2
3 月	44.6	42.0	45.4	34.6	47.7
平均	52.5	44.8	45.4	36.2	44.1

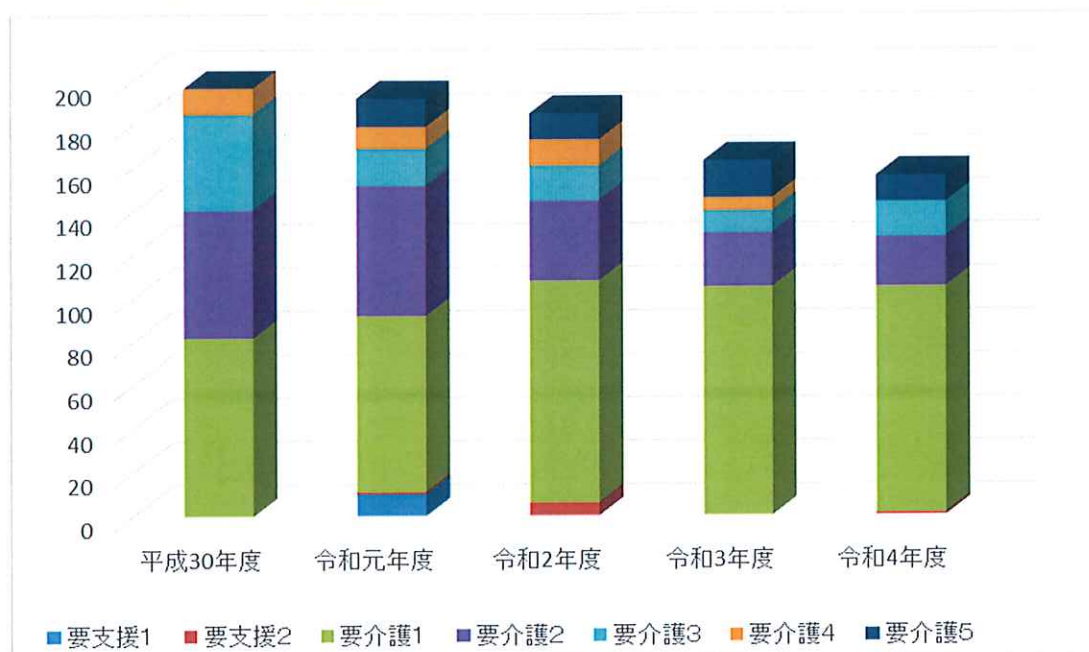
◎介護度別利用者数

要介護1の利用者が圧倒的に多いことが分かります。支援2の方も利用開始になっています。

介護度別利用者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
要支援1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要支援2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
要介護1	11	11	10	9	8	9	9	9	9	7	6	6	104
要介護2	2	2	2	2	2	2	2	2	1	2	2	2	23
要介護3	0	1	2	2	2	1	1	1	1	1	2	2	16
要介護4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要介護5	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
平均	1.43	1.51	1.67	1.71	1.77	1.62	1.62	1.62	1.58	1.73	1.91	1.78	

	要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5
平成30年度	0	0	82	59	44	12	0
令和元年度	10	1	81	60	17	10	13
令和2年度	0	6	102	37	16	12	12
令和3年度	0	0	105	25	10	6	17
令和4年度	0	1	104	23	16	0	12



◎入浴実施数

入浴介助数は、前年度と比べますと利用者延べ数が増加した分、入浴介助数も増加しています。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
実人数	9	10	10	11	9	9	9	9	9	7	6	9	
延べ人数	87	92	101	95	79	88	98	92	82	70	70	107	1061
令和3年 (延べ数)	111	98	112	91	86	63	61	63	72	56	56	69	938

◎年齢別利用者数

令和 5 年 3 月現在の登録者の平均年齢は、87.6 歳と、前年度より平均年齢が上がったことが分かります。また全員女性利用者となりました。

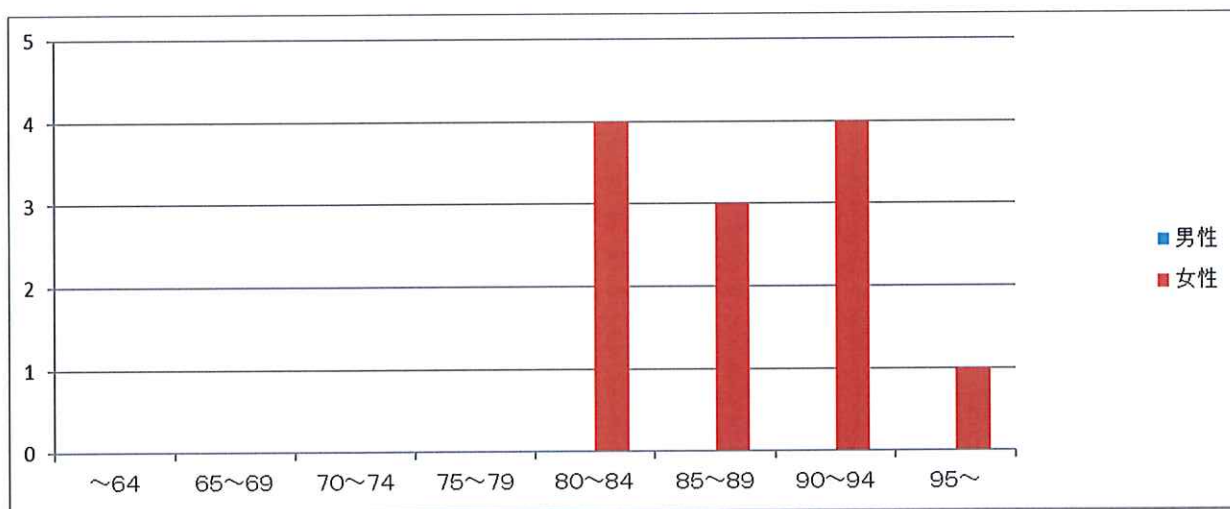
年齢別

令和 5 年 3 月 31 日現在

年齢別		～64	65～69	70～74	75～79	80～84	85～89	90～94	95～	計
人員	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	女	0	0	0	0	4	3	4	1	12
	計	0	0	0	0	4	3	4	1	12
前年度	計	0	0	1	3	1	5	1	1	12

平均年齢 87.6 歳

(前年度 84.3 歳)



令和 5 年 3 月現在

男性：0 名 女性：12 名

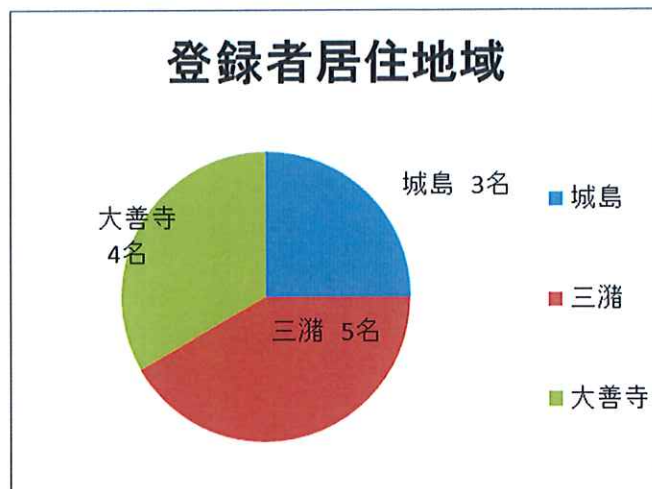
◎登録者居住地別一覧

三漕町・城島町・大善寺町と三町からの利用が主であり、大善寺からの利用者が増えています。

登録者の居住地別一覧表

居住地	登録者数
城島	3
三漕	5
大善寺	4

令和5年3月31日現在



◎運営推進会議について

- ・9月に1回目・3月に2回目の予定をしていましたが新型コロナウイルス感染拡大の為、2回とも運営推進会議の開催を中止し、書面での開催を行い、資料を配布し運営基準に定められた自治会長、早津崎民生員、尚寿会早津崎支部長、久留米市担当者、包括支援センター職員、利用者、利用者家族、職員にて利用者の利用状況及び取り組みに関して報告を行い、運営に対してそれぞれの立場での意見を拝聴し、運営の改善に努めました。

◎その他

- ・職員の同居家族などに新型コロナウイルス感染があり、濃厚接触者や感染するケースや利用者の同居家族が感染されその後本人も感染されるケースも発生しております。
- ・職員全員のPCR検査を実施し、唾液採取によるPCR検査を定期的に行いました。

◎職員研修について

職員体制や新型コロナウイルス感染拡大の為、内部研修の実施や外部研修への参加がほとんどできませんでした。

職員研修	内部研修	外部研修
4 月		
5 月		
6 月		
7 月		
8 月	感染症対策(ガウンテクニック等)	
9 月		
10 月		
11 月	感染症対策(ガウンテクニック等)	
12 月		
1 月		
2 月		
3 月		認知症介護基礎研修 ・ 業務継続計画 (BCP)

◎行事について

新型コロナウイルス感染流行により徹底した感染対策を行い、密にならないように少人数で行事の縮小を行いながら実施しました。また敬老会や忘年会などは、小規模との合同では行わず食事をいつもより豪華にしてもらいお祝い等行いました。

平成4年度	行事
4月	藤の花見
5月	園外散策(青木天満宮) 運動週間
6月	
7月	七夕会
8月	納涼会
9月	敬老会
10月	おやつ作り(どら焼き) 避難訓練
11月	バスハイク(七木地蔵)
12月	クリスマス・忘年会
1月	
2月	節分
3月	雛祭り 桜の花見ドライブ

※毎月の誕生会

- ・家族会は、新型コロナウイルス感染拡大防止のために中止しています。

◎地域行事

- ・7月…三潞町犬塚校区交流会に参加
- ・2月…城島町下青木予防教室参加